

尚古鏡色二覽

上

番外書冊

和書門			
類	號	函	架
二	〇	九	三
一	七	三	一
一	七	三	一

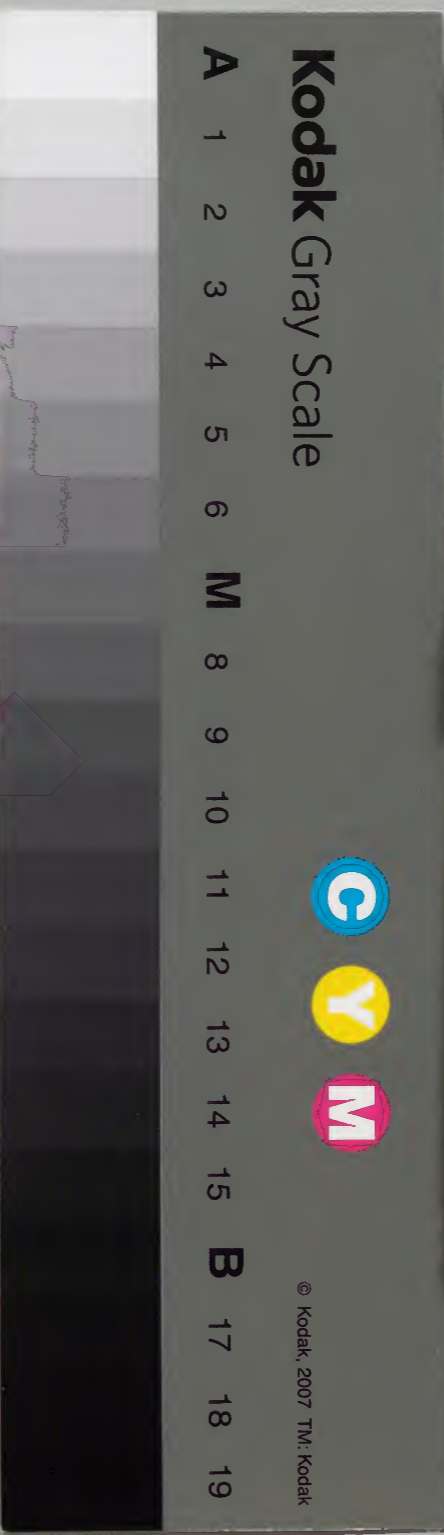
74

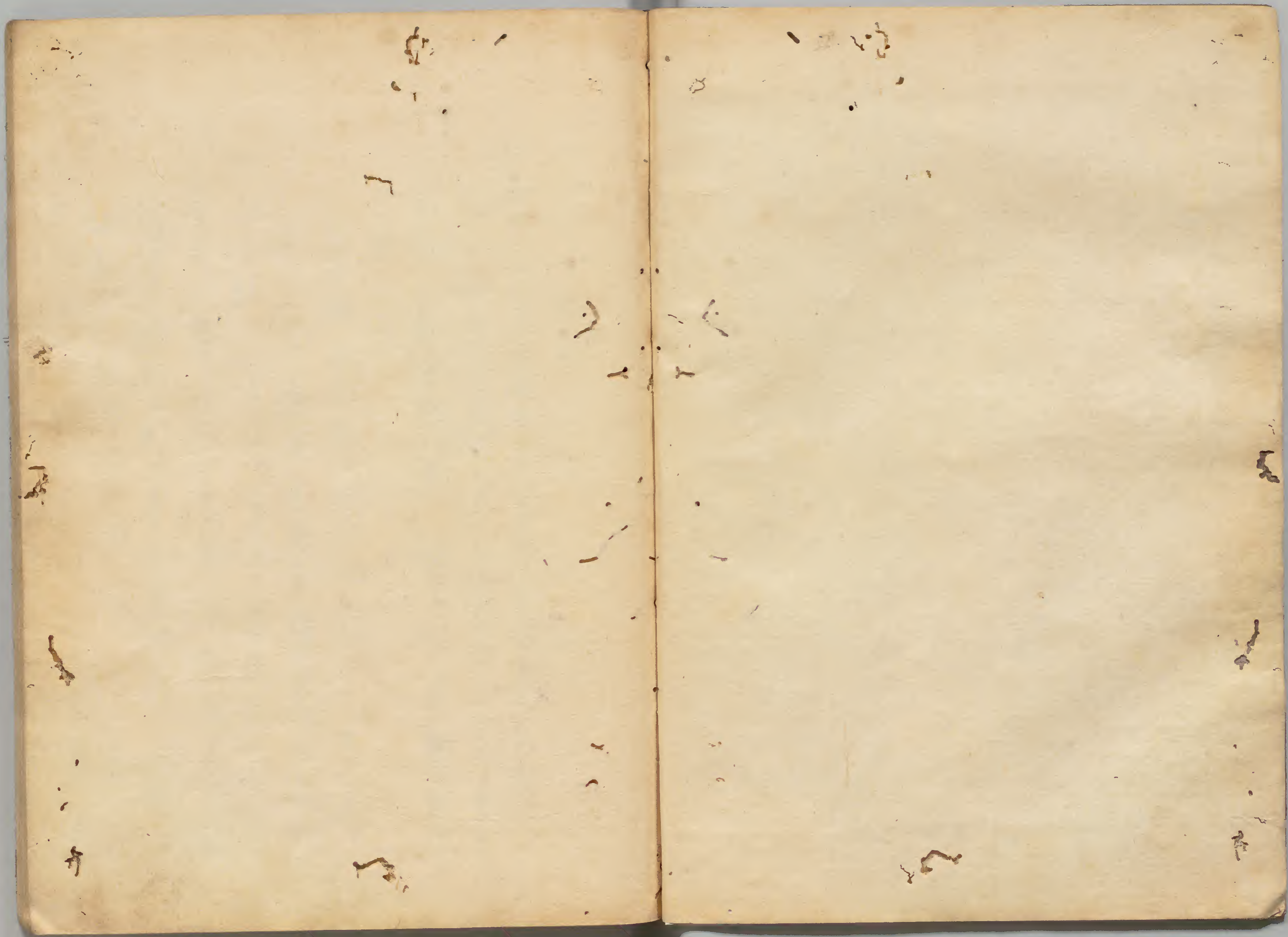
內閣文庫			
類	號	冊	函
七	三	一	三
五	函	七	二

武備兵法七

武備

內閣文庫	
番號	和 17313
冊數	2 (1)
函號	154 74





凡例

浅草文庫

○ 初等しもの図説先んずるのありしは、そのもあれども
又、その先んずるのひらきしと、あるものあり
され、その説を、その神なり、つらなり、童蒙家乃



此圖に解説を加ふるは、四記物か、これより
よる、先んずるの説を、是れを、論を、予う、能説
と、いふ、し、なり、され、その、説、ある、もの、を
その、中、の、初等、の、方、を、出、し、て、観、閱、又、た、よ、り、其
所謂、の、ひ、わ、か、り、き、物、と、し、の、類、に、諸、説、を

参考するものあり

○ 各目、の、目、の、形、つ、ら、な、り、し、は、其、の、説、を、其、の、目、に、

よのあきまゝのこゝろ筆紙跡出せしものあり
き名紙何ははんもくもくしあはれ
つらつらくたえしもの川ちをのせ
さるあり

○古物なすし一て見やふなふと後、地力
かすつれをさして所蔵の大方較をさる

○古書跡出、初は画名を志し再出、かすらの
一二字を出す保えよのつらつら此陰を保え
さうり出れのおまり

○つら目、袖のこ紙うつせり志と紙細きすり
ねしとあえし又よろひ腹巻細丸此を
あきと就てもむし

○日記よるまゝ丹青をるるとし或は古画の中より
うつすもついで光潤浮況その誤りん
汗へり唯紫緋緑缥を無むるもの

○古きよらひ紙綴り料を懸緒かひと云物やを緒通とらの
略言或は歌をねひ屋うれのきありと
鬼の字をとり用ひあは見えりて威乃字
綴乃字紙かすりてさる

○韋革剛柔あはさるるものも又あ革此字を
司由古物たりうふん及つるもの、是紙紙
あはさるるものをほりぬたり

○名あつて物あはれありおちるる名やえさるもの
何りやとみせりしもの、柳、松、楓、

くまへてはるねれく

○古よはひお侍の儀容を志るはありきとて
あり或ハ古製より倣ひ彩潤しあふ家々あり
海の所より古風を存するもあれは其の
のせざるも惜る所とあれはなり

○夫乃國を編輯するも予固より寡識は
固也に之しこれハ蹠脱多うへし乃て
たしし詳なる紙志めさし是より補ふ
又つやうと辨明せざるものあり姑く
此編よのせは後日嗣編ふ出すあり

天保六年五月

尚古鎧色一覽上

一 関

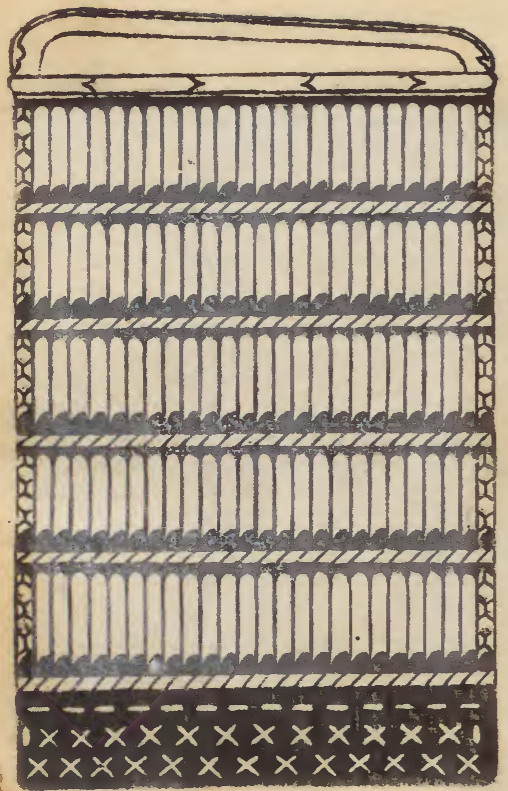
本間源百里輯

あうへとれし
白絲織

▲雲沓日御嶺社藏是也

まろあやをじし
白綾綴

あろのかあやおじし
白唐綾威



ぬりぬき
練緯威

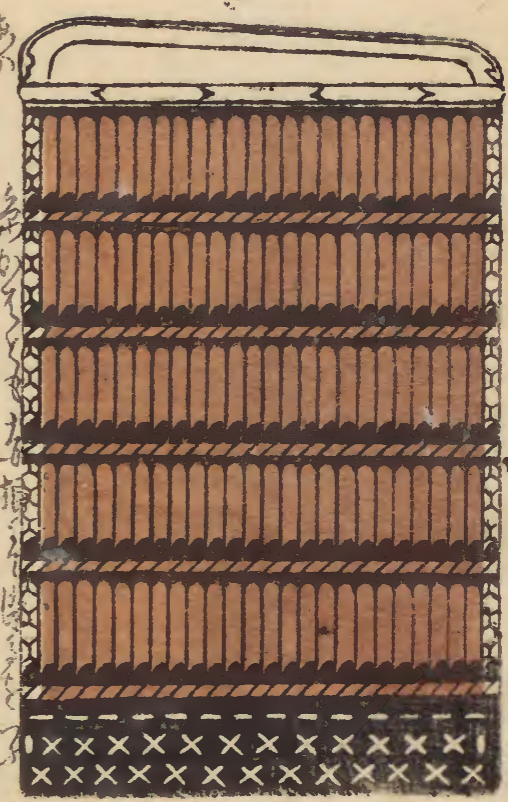
白きもあるよは福よ添ておじし
の糸いろ目のきこえたるれとそ
余乃色もあるへきなり

洗革威

あうひ革ハ抄のいろ白ちり
いろかとの説は末は

紅威

紅威
多華よかきくはびる
そむいあまの徳を
五し



赤威

赤威
赤威は赤い威をいふ
又赤威は赤い威をいふ
又赤威は赤い威をいふ



緋威 緋威

緋威
緋威は赤い威をいふ
又緋威は赤い威をいふ
又緋威は赤い威をいふ

氷魚威 異字なり

日威 古きよるんじ

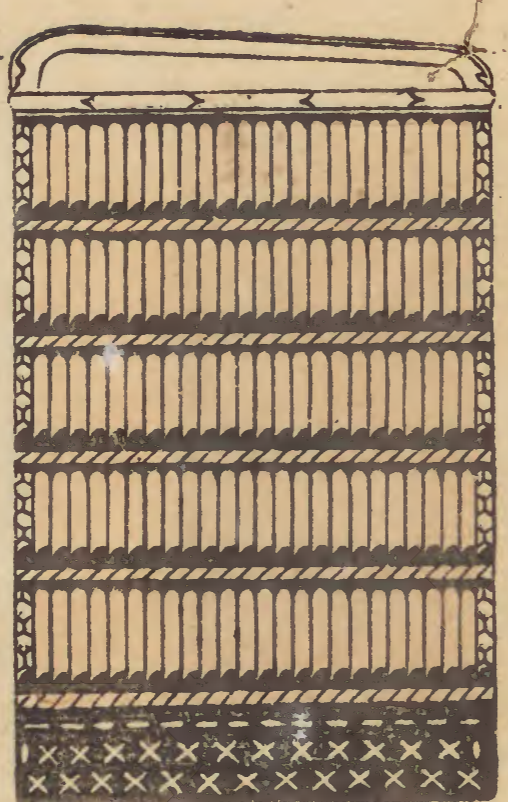
赤線威

赤線威
赤線威は赤い威をいふ
赤線威は赤い威をいふ
赤線威は赤い威をいふ

赤草威

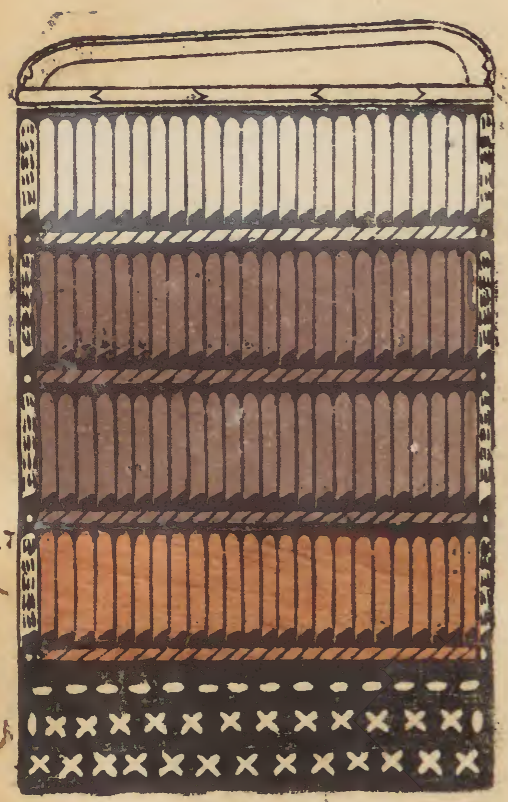
赤草威
赤草威は赤い威をいふ
赤草威は赤い威をいふ
赤草威は赤い威をいふ

薄紅威



紅下濃

紅下濃
紅下濃は赤い威をいふ
紅下濃は赤い威をいふ
紅下濃は赤い威をいふ



紅梅威

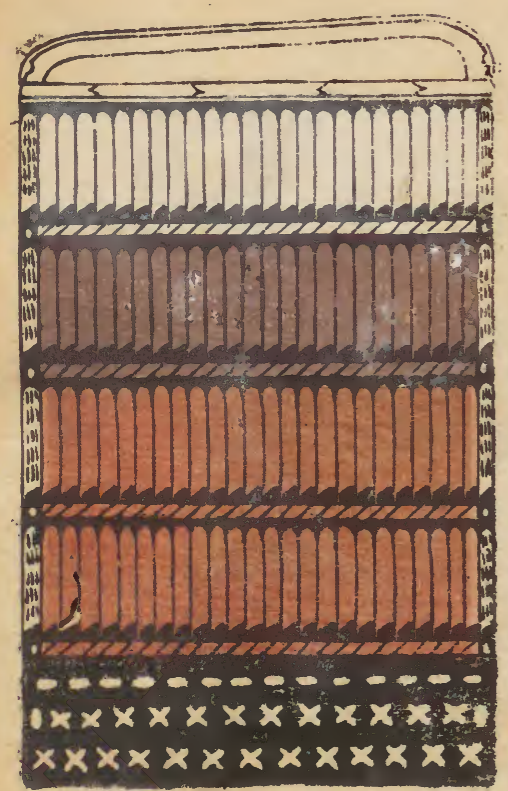
紅梅威
紅梅威は赤い威をいふ
紅梅威は赤い威をいふ
紅梅威は赤い威をいふ

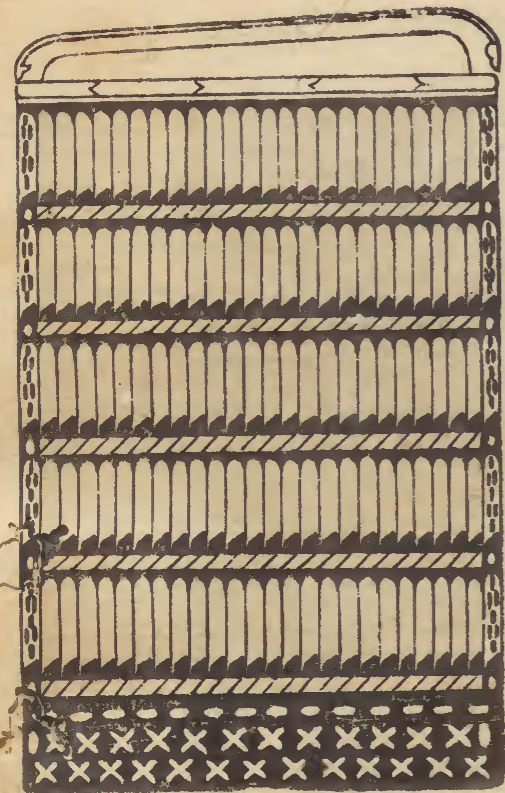
韓紅威

韓紅威
韓紅威は赤い威をいふ
韓紅威は赤い威をいふ
韓紅威は赤い威をいふ

同上

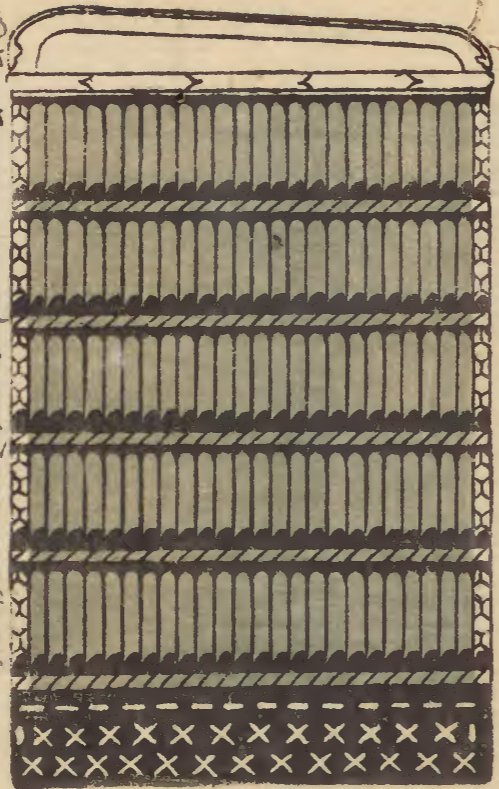
大須磨三郎画





浅木威

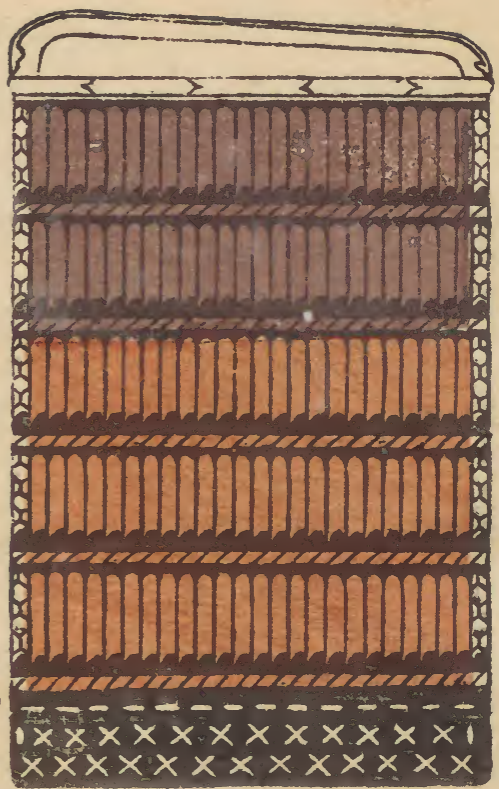
▲巖島社蔵義家持軍
甲冑此色の統を
あし



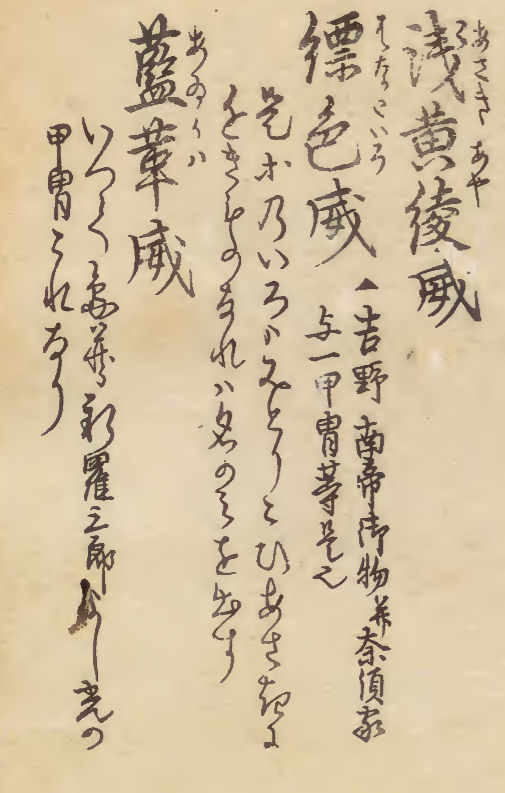
緑深鏡

み

同上 清多



同上 日



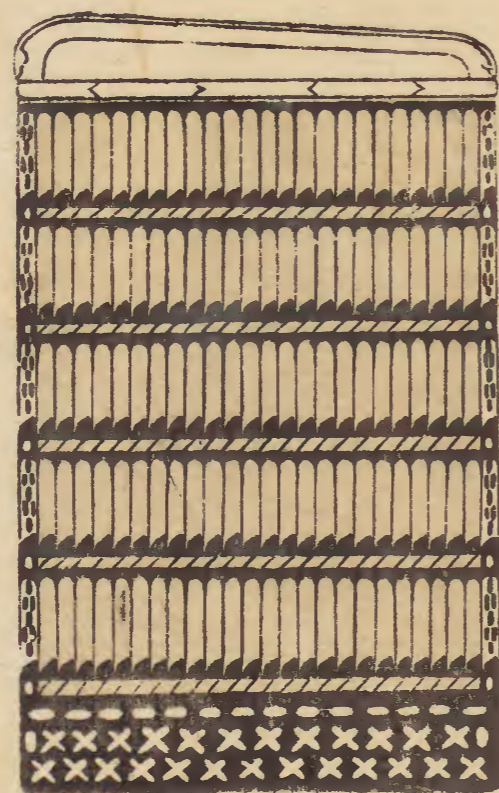
浅黄後威

▲吉野南帝所物并奈須家
与一甲冑等是也

是乃乃いろハミとヒアサヒ
とミサトのミサレハミのミサト

藍草威

いづくもあはれ新羅之廟
甲冑これなり



濃浅蔥威

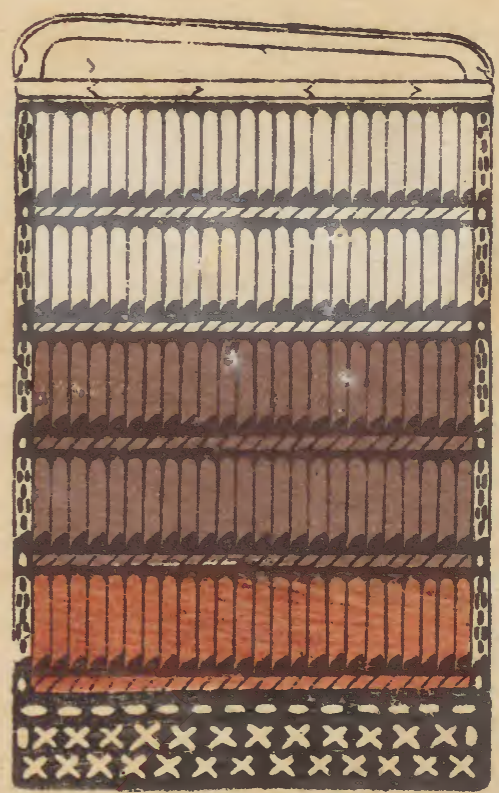
ヒアサヒ

唐紅裾滋

か

あ

同上 清多



同上 蒙古新本圖

黒糸威



紺糸威



黒革威

黒唐徒威

黒澤毛よりひ

▲古教本だんぎを
▲同古本神座より
くろかわを二寸五分一寸五分を
わすしちやうといひカミヤツツ
種士のちやうとせし

▲巖尊社蔵山松内府 皇威 甲冑
▲石清水曰義家朝臣曰
右紺糸威也

紺唐徒威

異邦乃割を賞玩せし

褐練貫威

褐色威

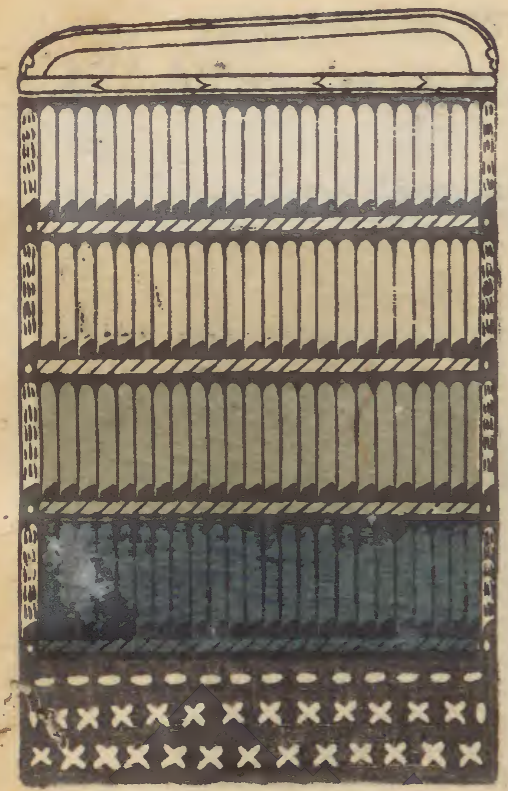
藍澤と描あまのほのかちれんを
まろみまをまろみまをまろみまを
まろみまをまろみまをまろみまを
みまろみまをまろみまをまろみまを
みまろみまをまろみまをまろみまを

勝色威

近世揚色をかく緒して鉄細子
多く用由古ありまろみまを
又揚いろは紅威をかちん白を
通移りの誤あり

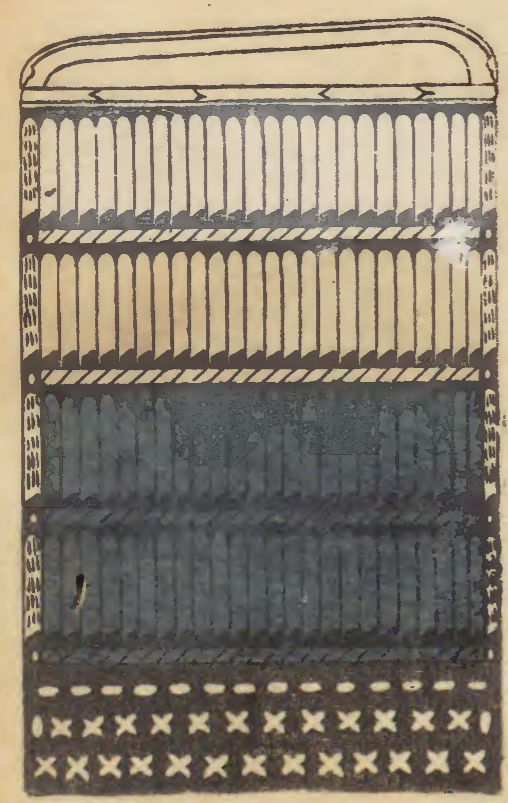
紺末濃

十束
厚三寸

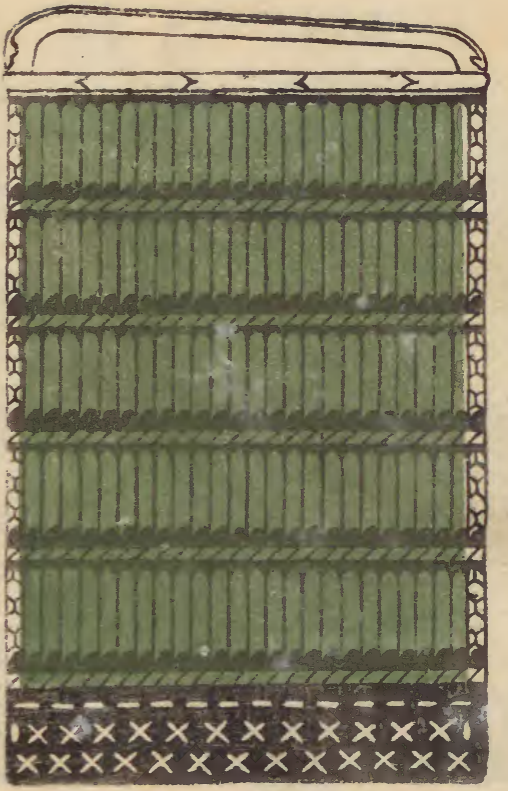


同上

春日駿記

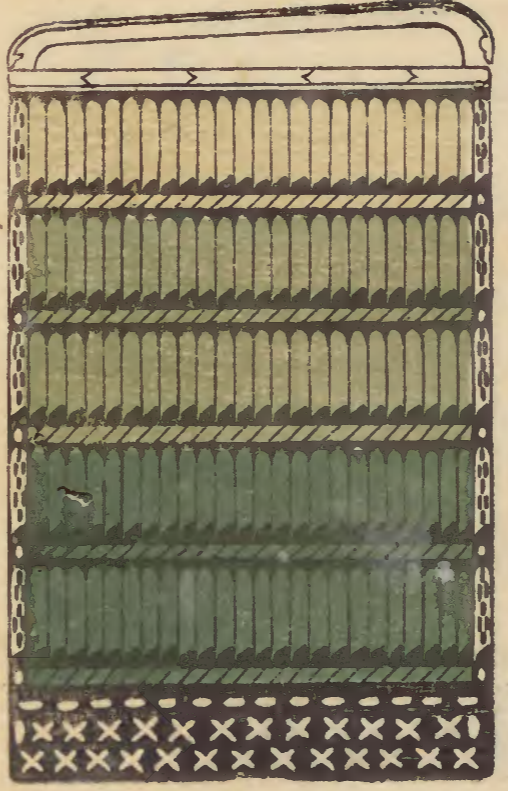


崩黄綿綴
ゆんきつとあし



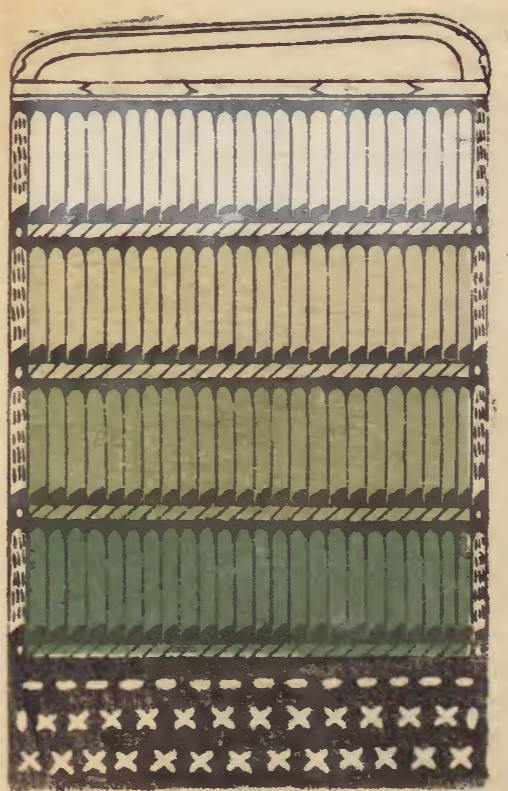
崩木裾濃
ゆんき ずそが

春日



同上

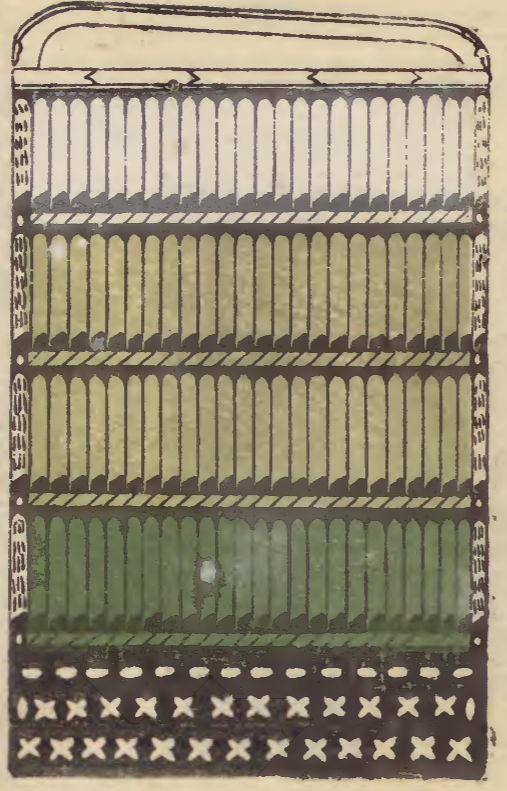
後三年
春日



甲曹よりききとてしりもねをむさねり
かきりの説ありあうれも既に付百
百重ゆきとちあまのりくのすそをええ
りれん先 雲か木乃下邊を
他のいろとあかへきとの
又名乃きとえさるゝとて
終つて亦その邊より

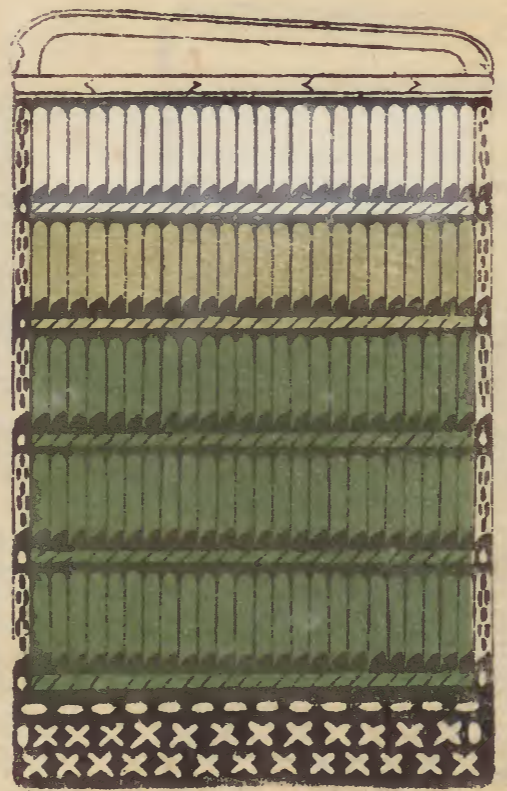
同上

蒙古



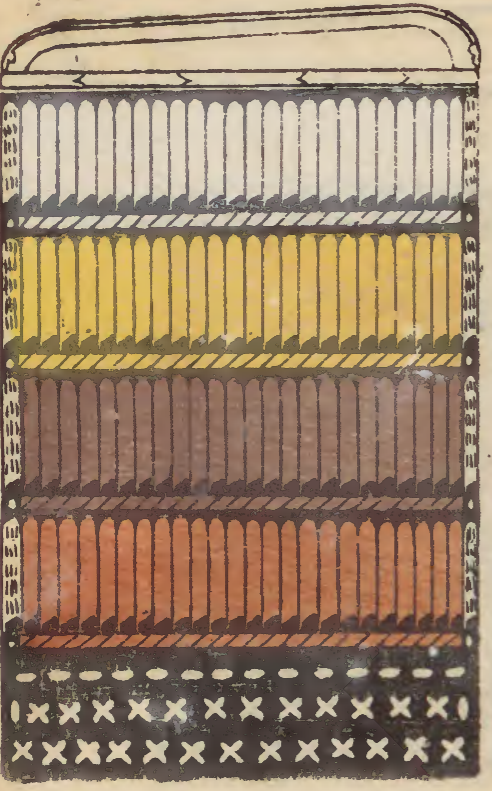
同上

清和



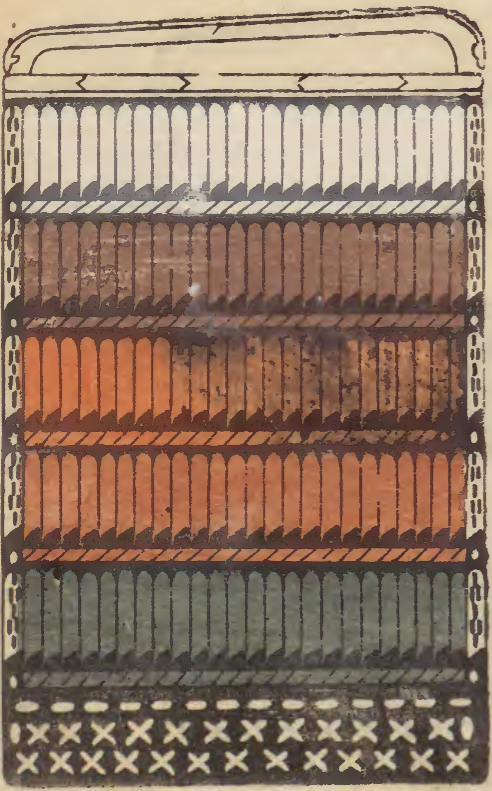
同異割

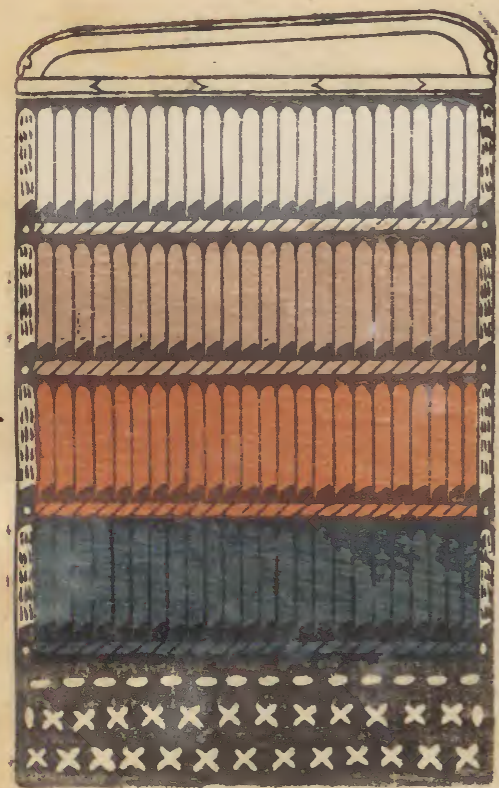
春日
一遍上人画



同上

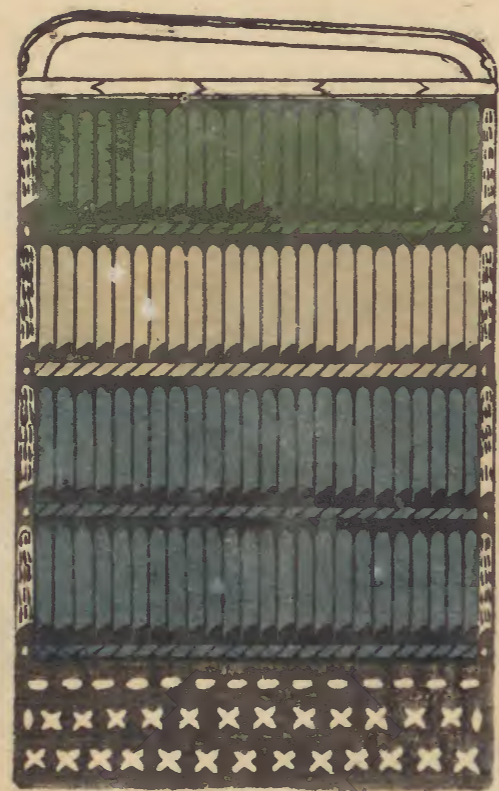
前九年画





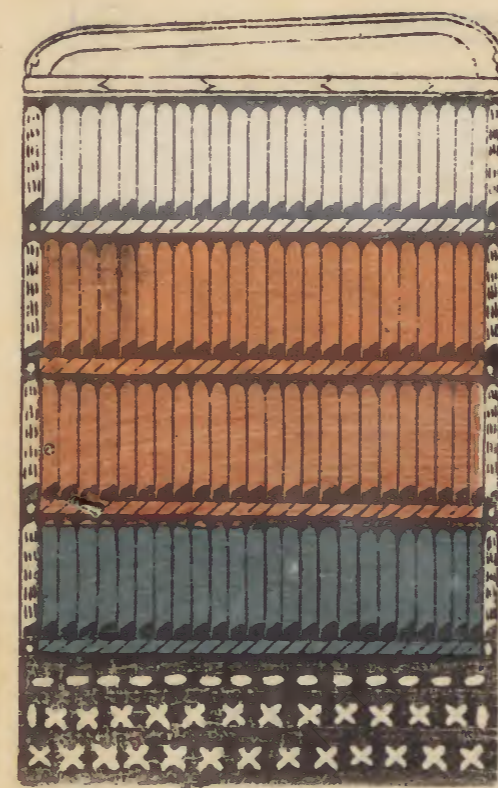
同上

春日



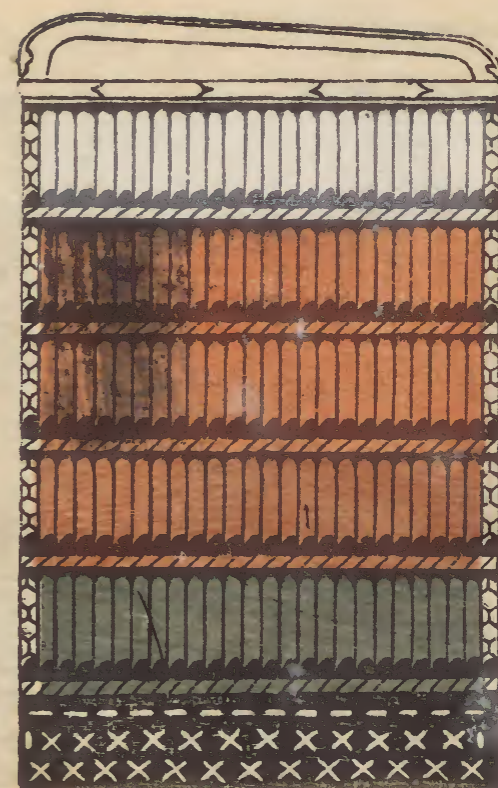
同上

保元平治画一



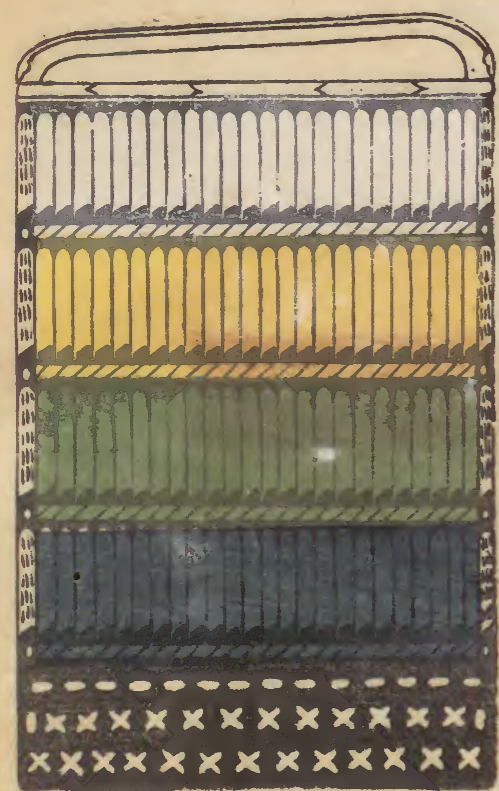
同上

同



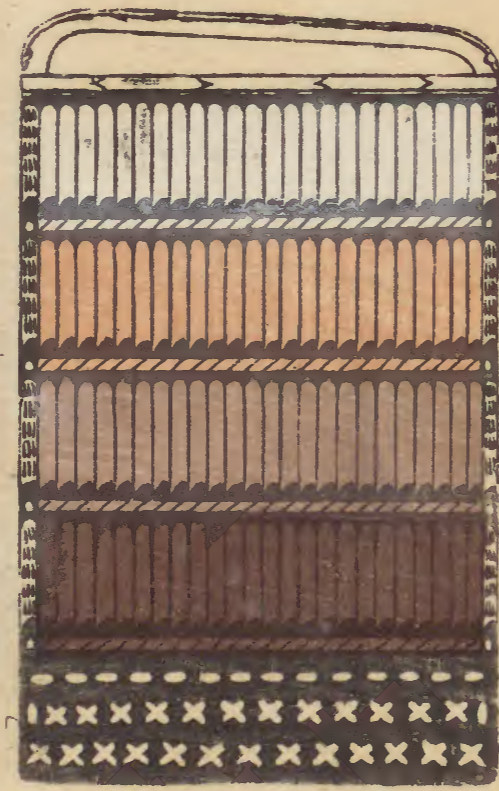
同上

同



同上

或家平治画



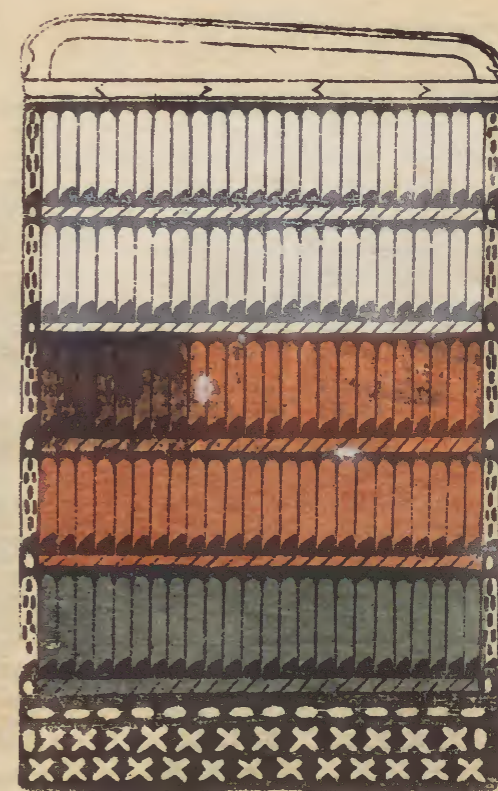
同上

一谷画
三季
平治



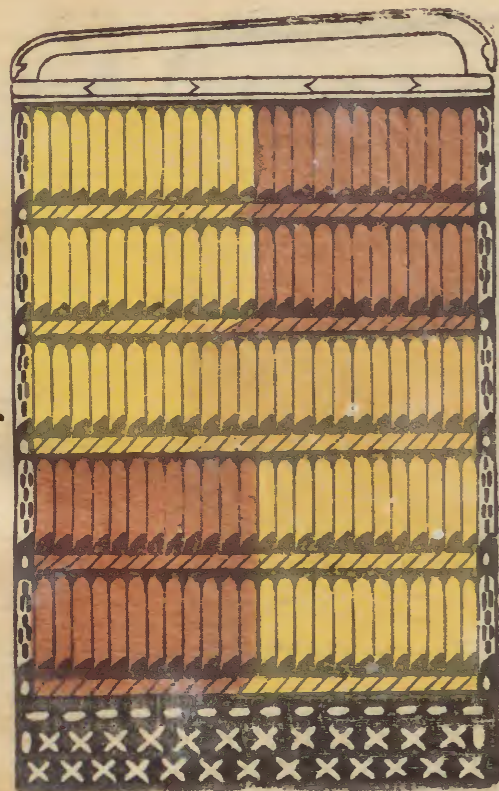
同上

蒙吉



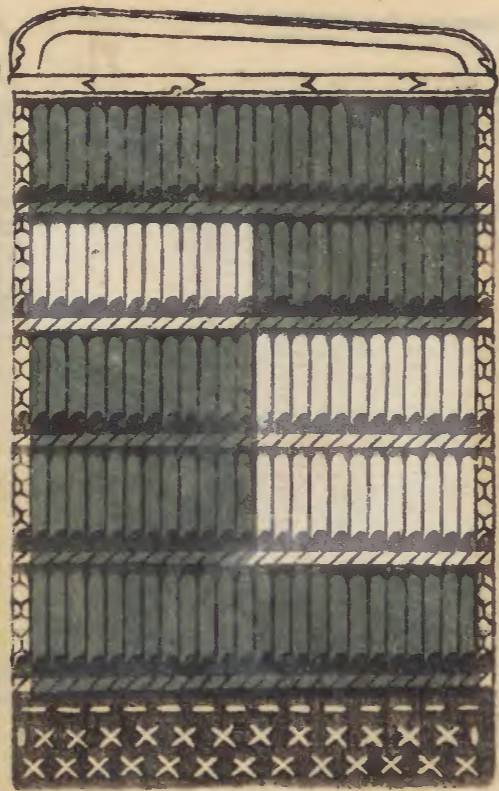
同上

同



いろのむら
色々村濃

伴大納言

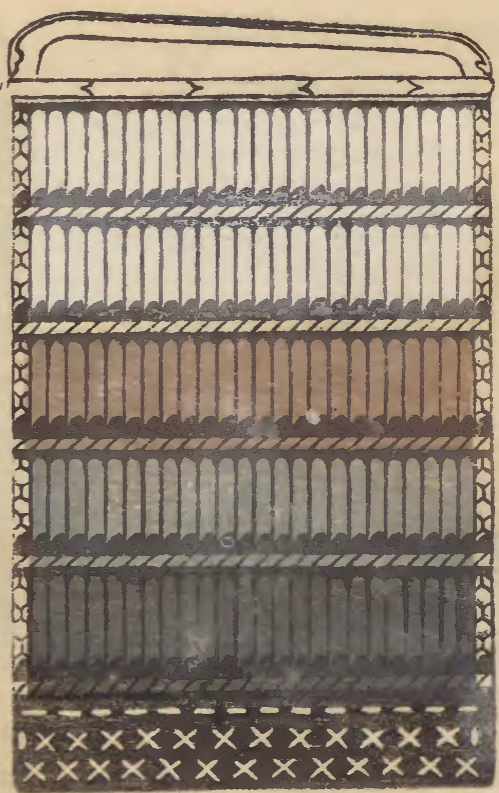


紺村濃

伴大納言画

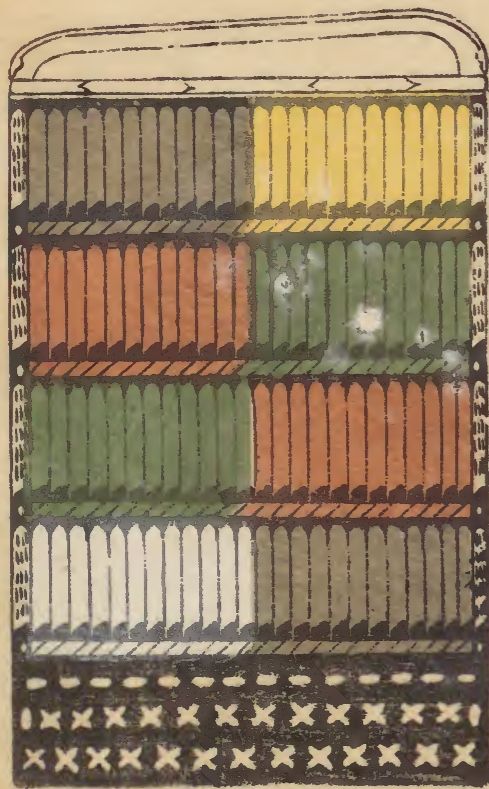


萌木唐綾坐紅



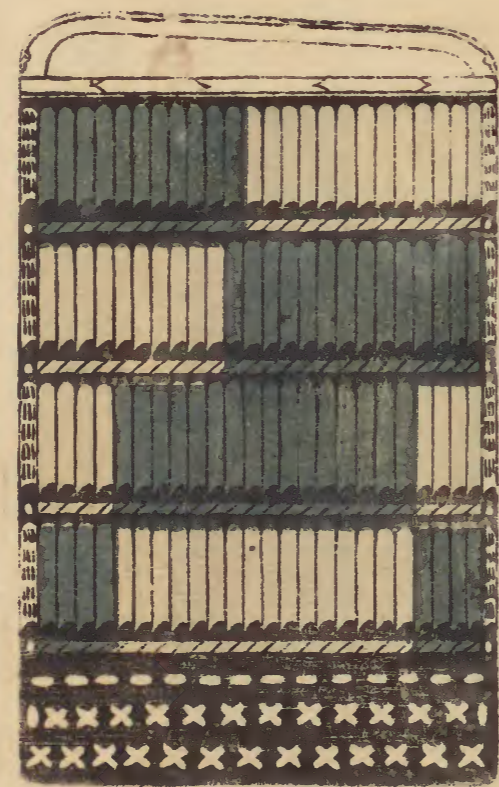
同上

蒙古



同上

春日



同上

一統

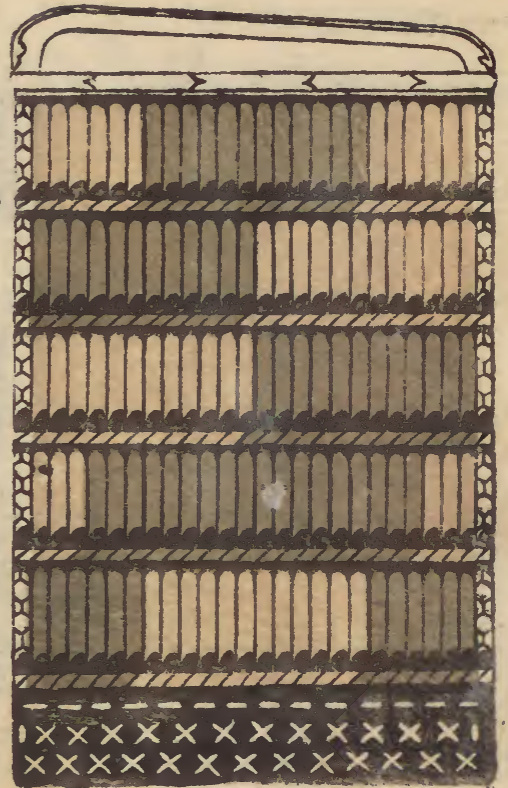


同上

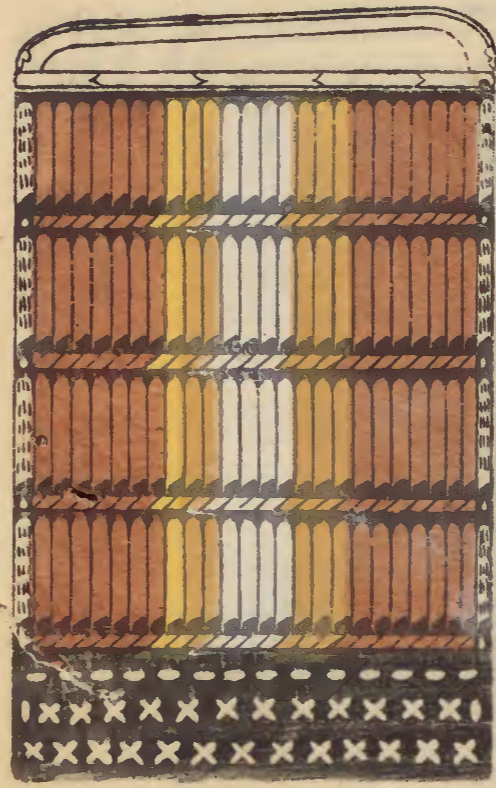
春日
平治

保元

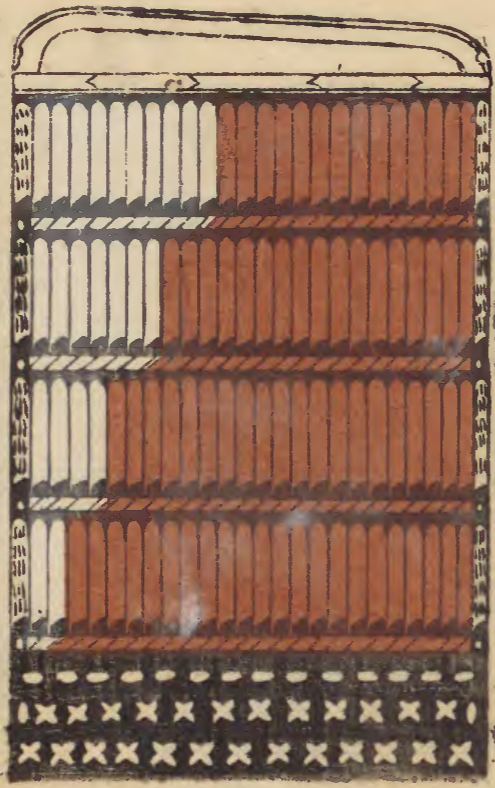
紫村濃 一説



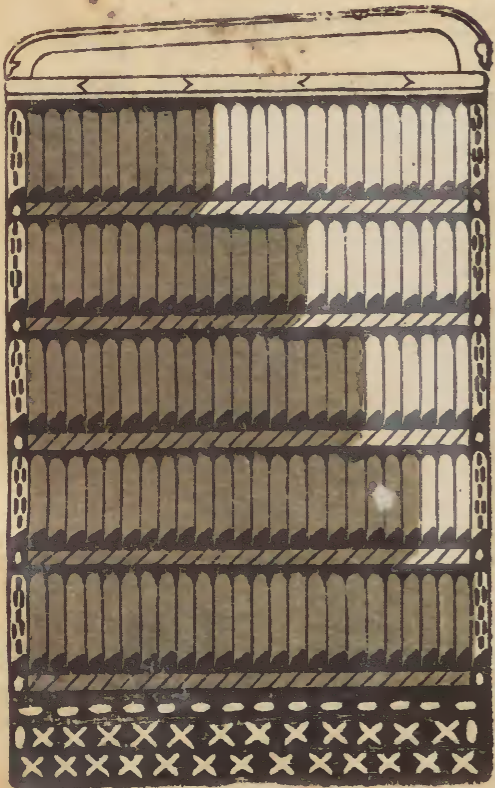
耳坐滋 伴大納言



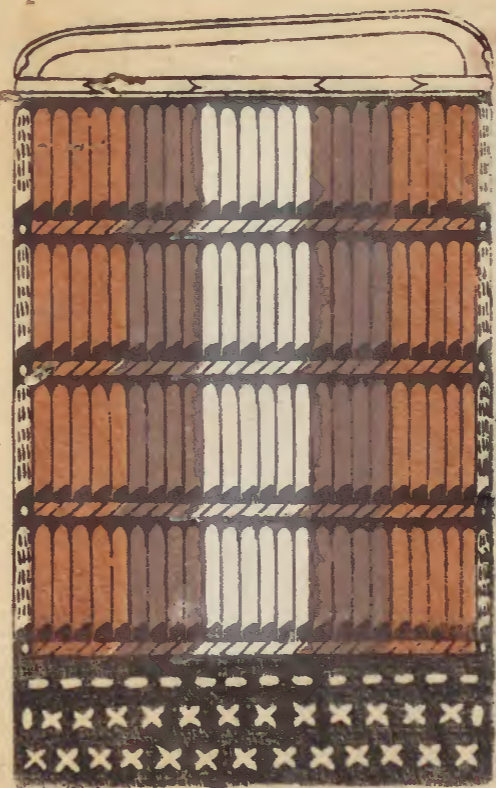
赤威肩白鎧



紫縁肩白威



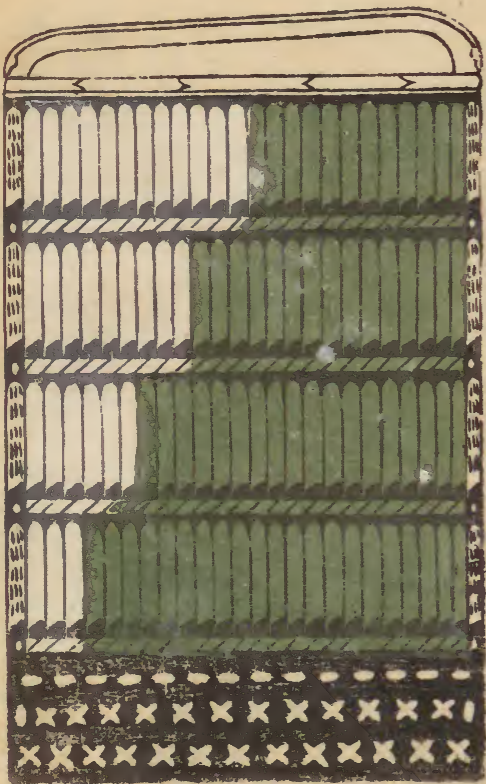
同上 後三年



或ハ 赤革肩白

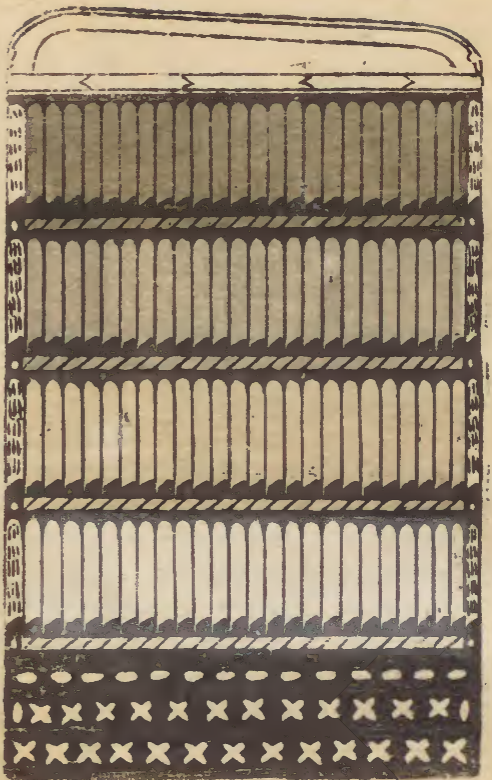
かき白は袖の一二の極を白く染めたり
おしりたるありとて洗ぬる予ハ
志しとするものも又及りぬあふハ
巧みの洗るる出づるなり

崩木縁肩白威 保元 平治

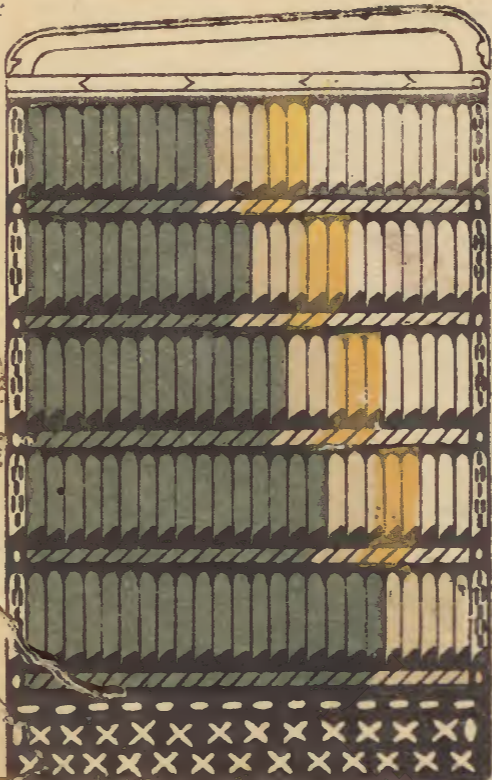


紫白威

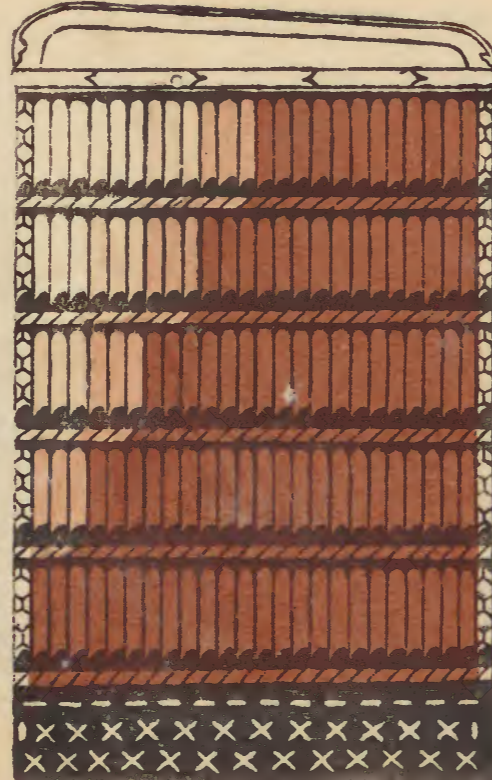
後三年



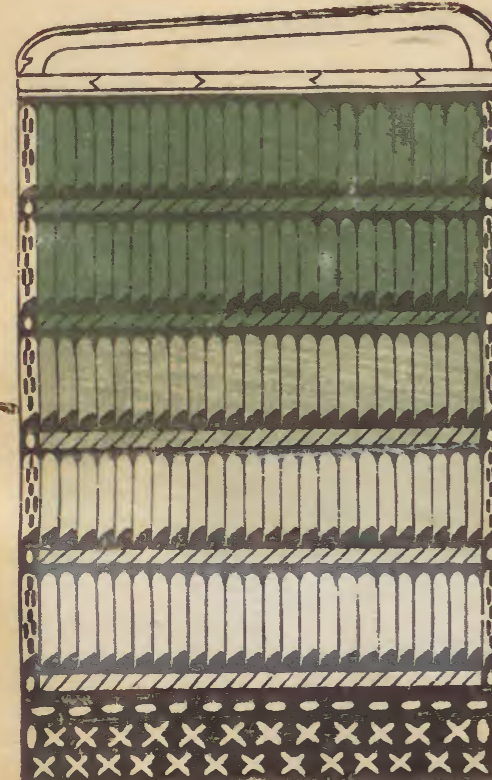
白肩白綴



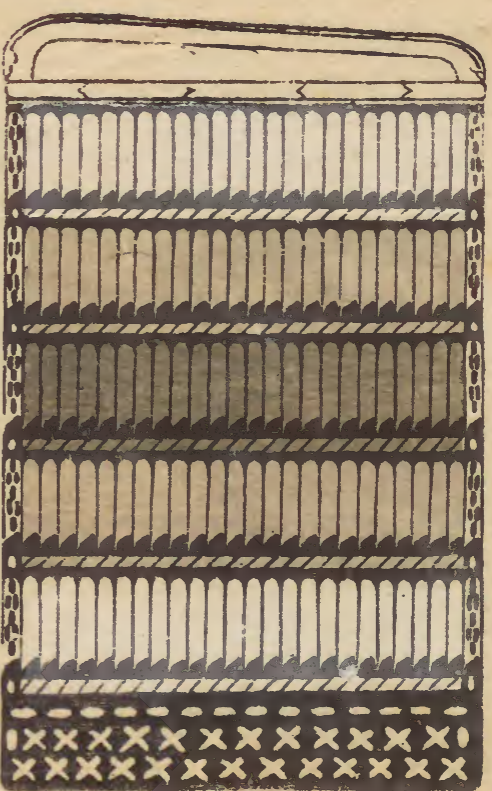
肩白赤威



菊木白綴



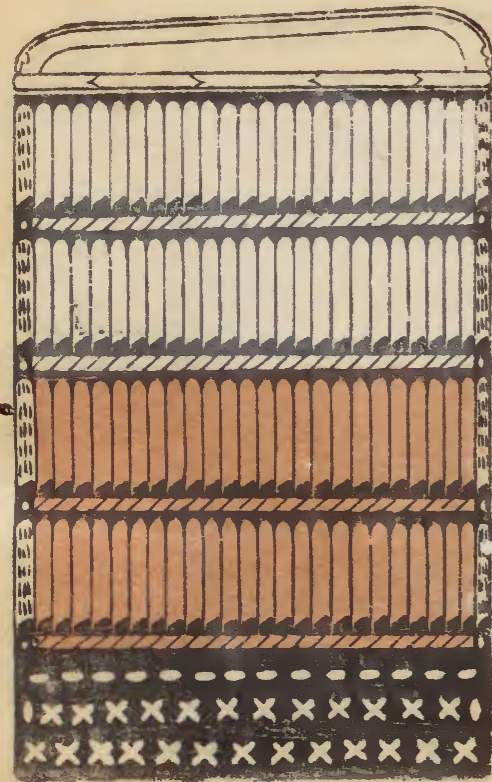
同上 一説



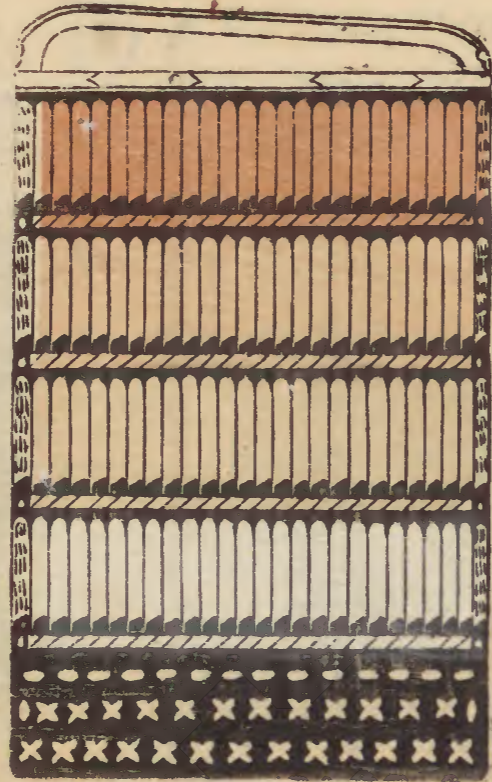
古き物かきりてそのまけえぬれと
替りたるをのせし肩へ白りけり
しのみかへのぬきぬるひさき
さしとの後もあらぬ

此名も古きりやえぬれと
多しきものひさきぬる
よれにちもあらぬ
いづれにや

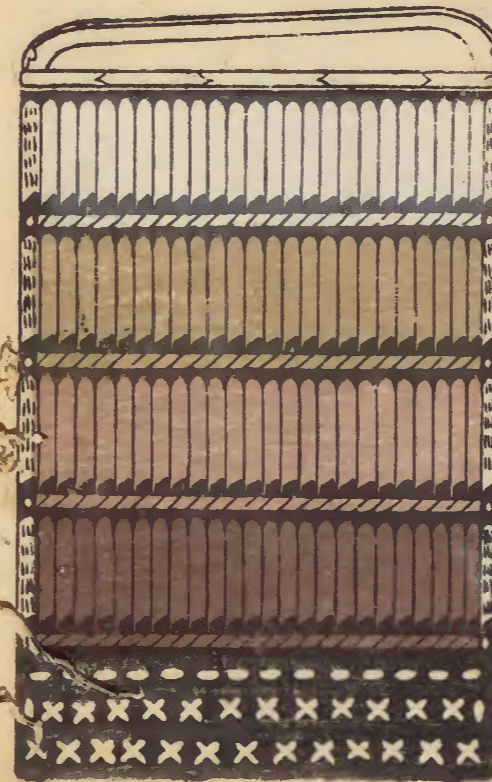
白の正色より改変に
れし果き白もあらぬ
清くまた
又も白のよきも下より
ぬれれと人を
いたよ白乃毛を
まぬれぬし
まぬれぬし



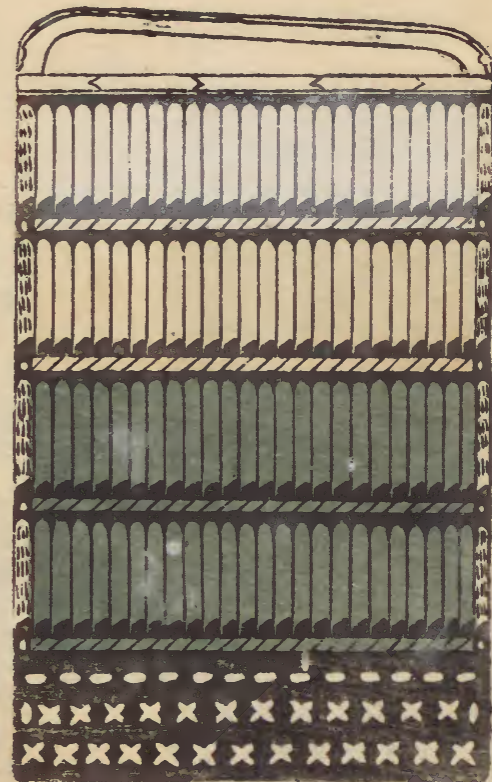
同上
同



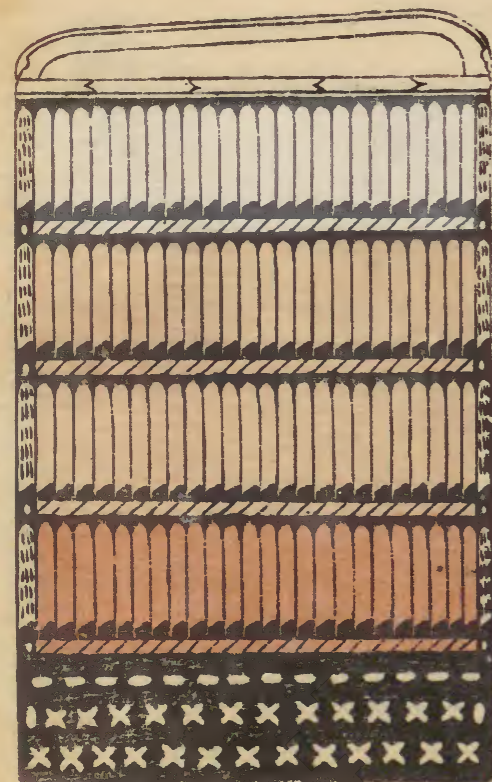
同上
同



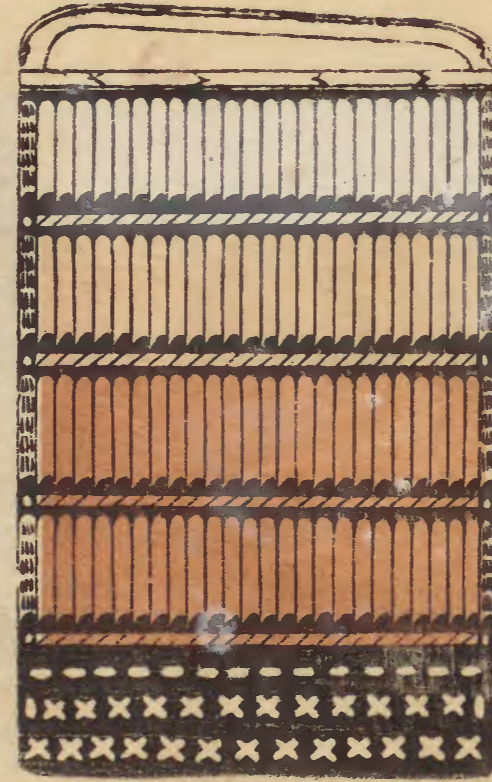
同上
日光大師繪



色
之
勾
威



同上
同

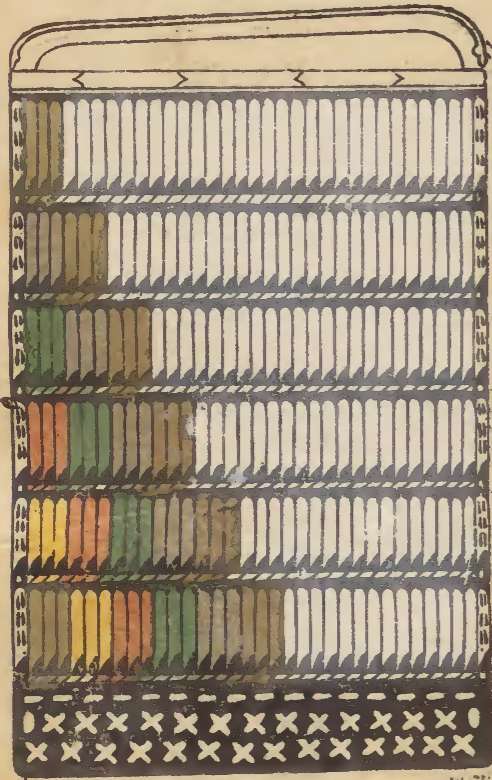


同上
日



同上
後三年

ありしつとく白き上り又左に
ありしつとく形なり古畫に見えし
ありしつとくし出ぬ



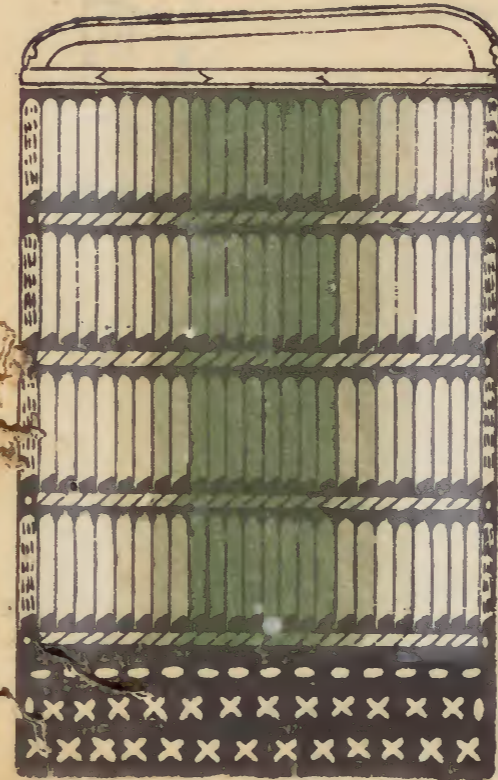
同上

△曰葺草摺り前板右乃妻之
虎は里を相對也

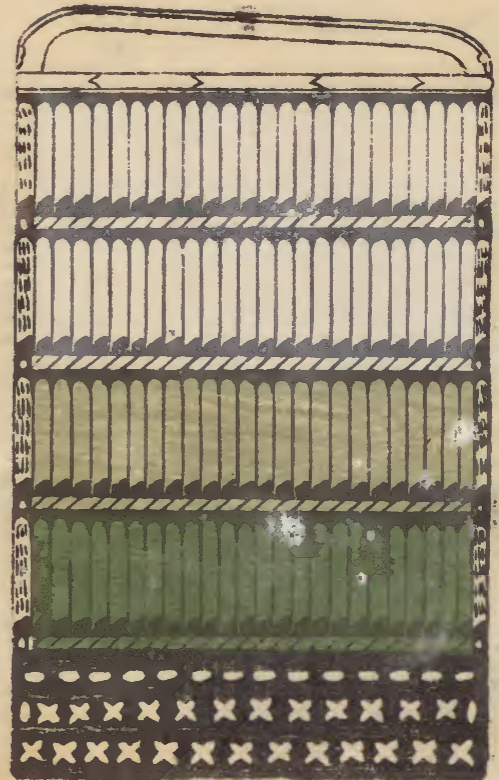


肩異色織

山城鞍馬寺葺
白糸威之袖



同上
一説



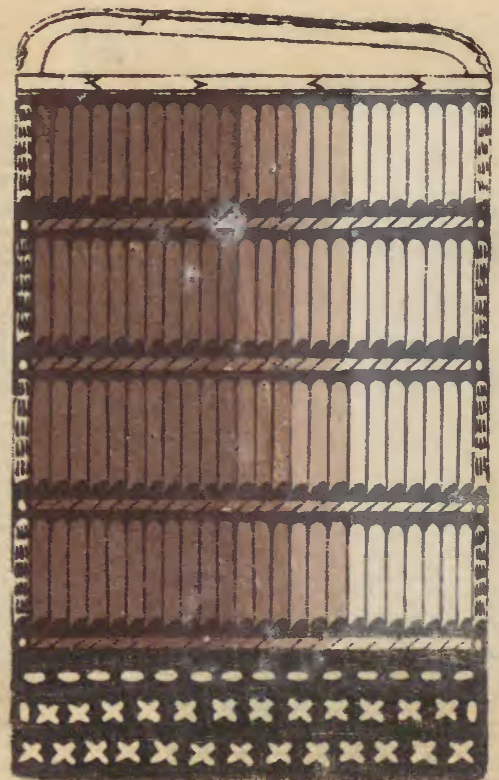
同上
大須子



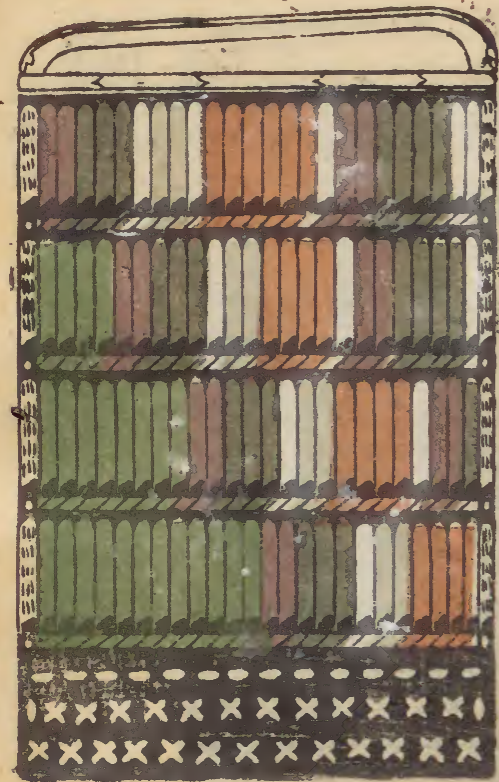
同上

△曰葺二領之内一領ハ後板
駱異之依て爰ニ出也

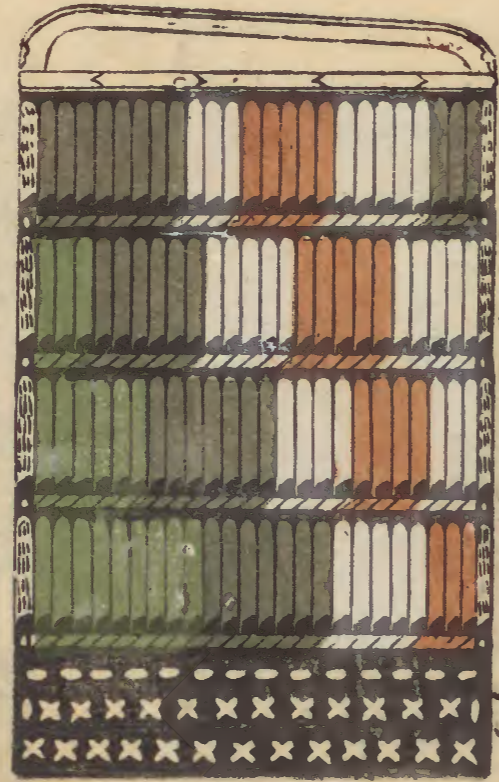
此多目古物ニ所見ナシトシク
古物又古物ニ見エタレハ何所
ニ出ルヤ



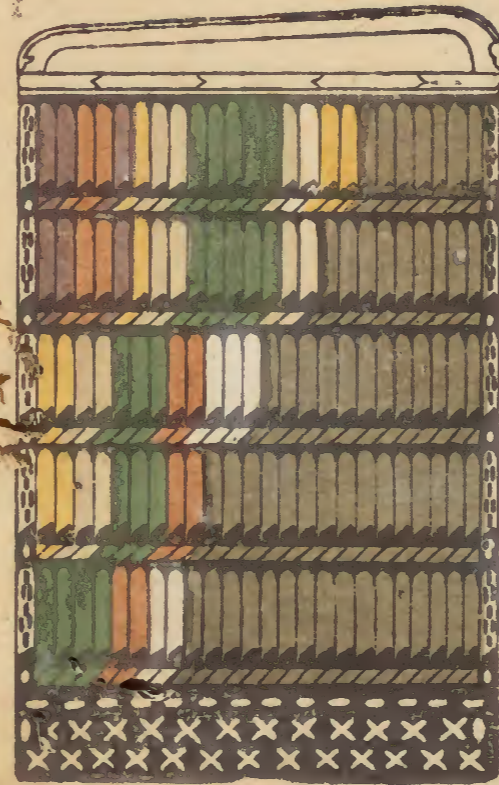
同上
或家平後画



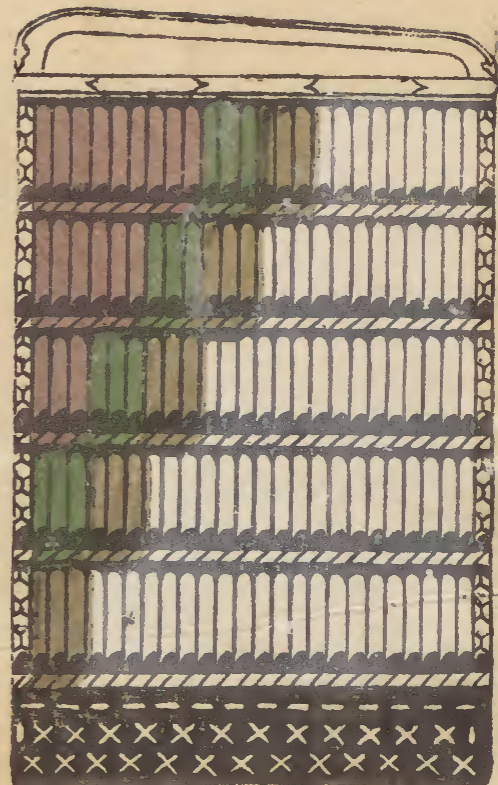
同上
日



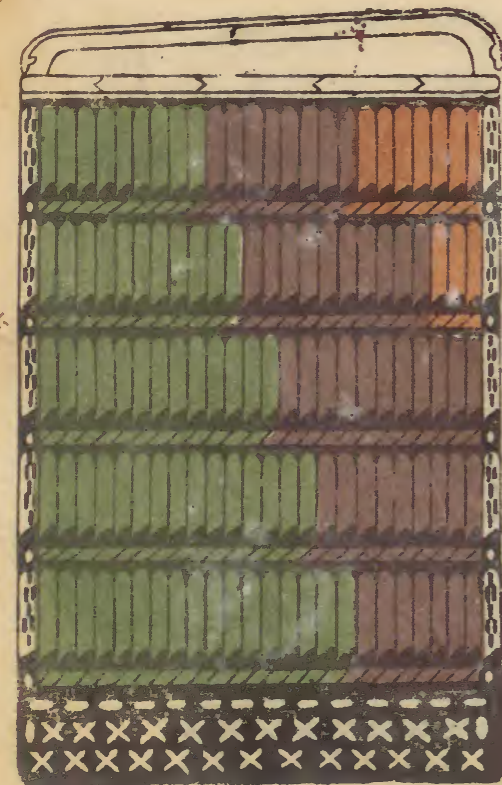
同上
後三年



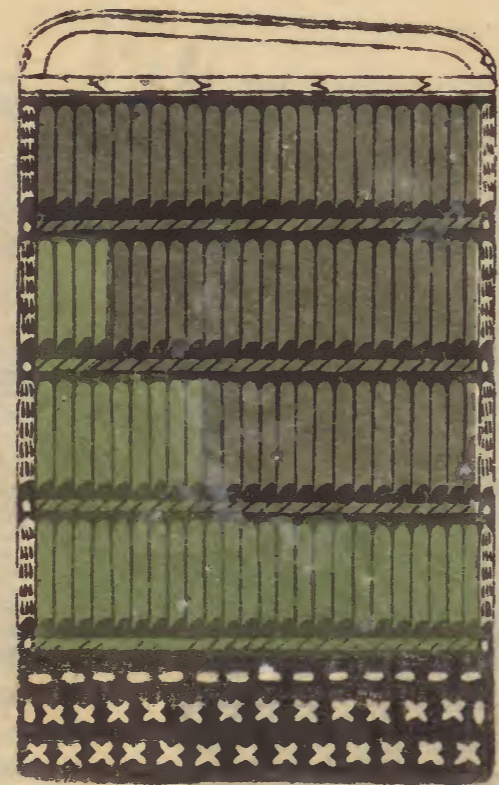
同上
春日社蔵古鏡



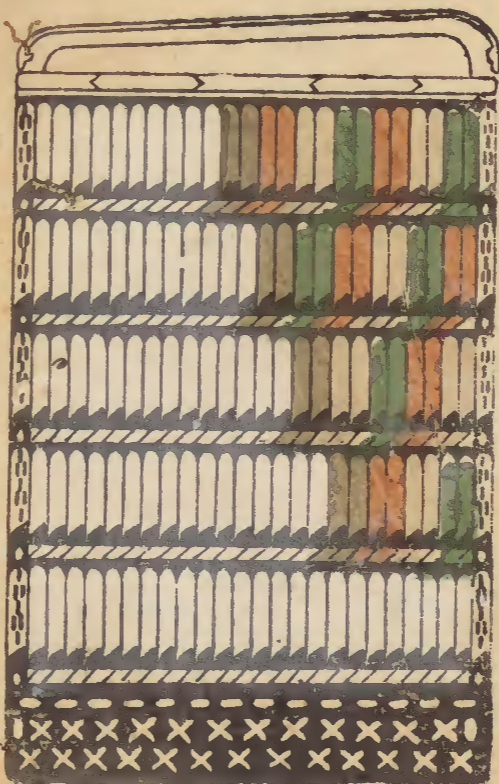
同上
日蔵



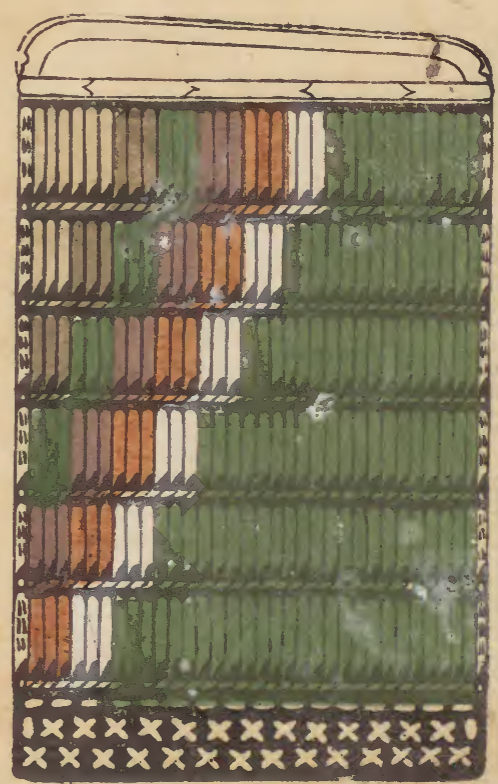
同上
蒙古



同上
前



同上
清多子

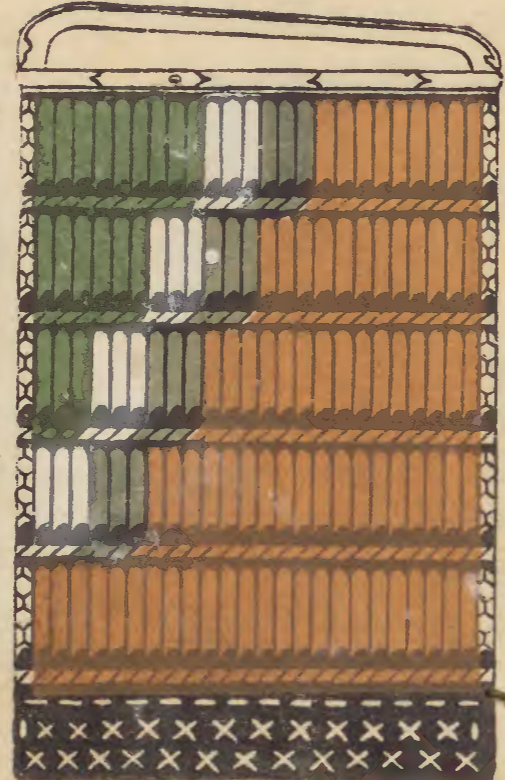


同上
豫州三島社蔵
古古鏡



妻肩白織

後三年



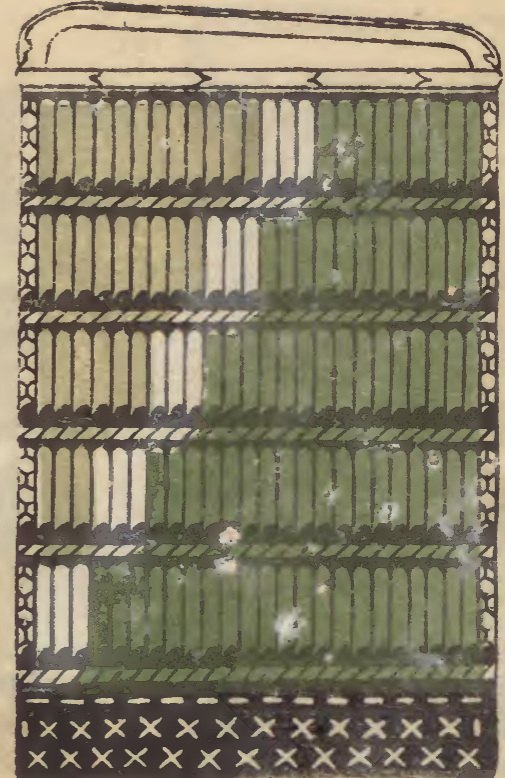
同上

蒙古



同上

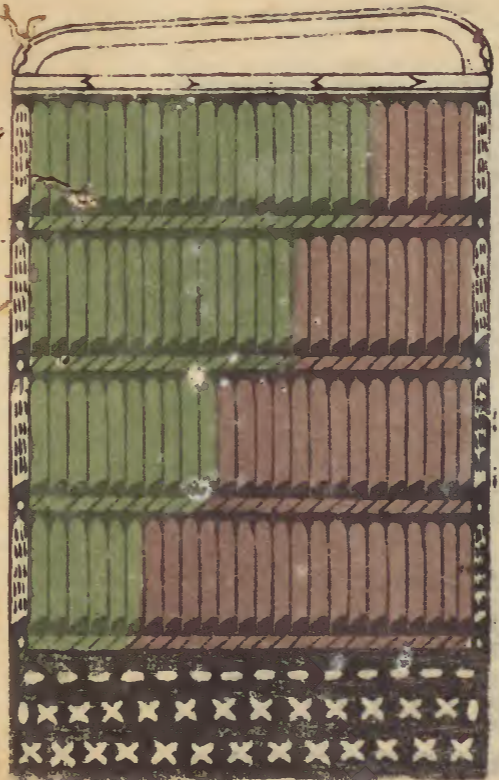
同



同上

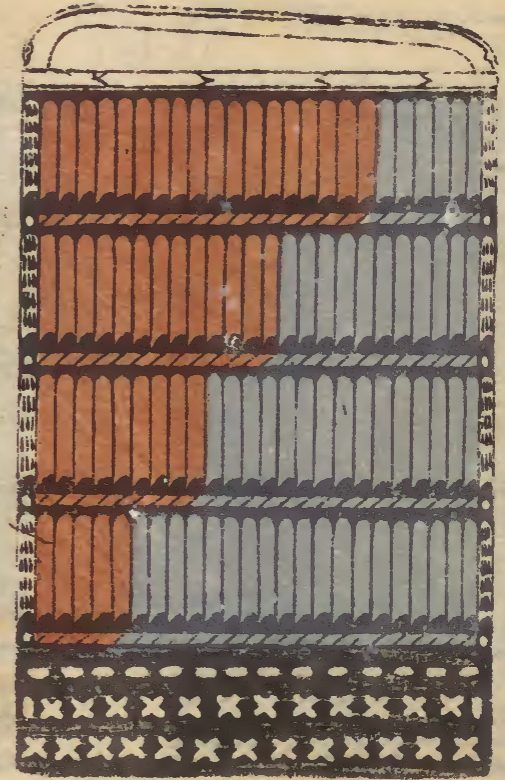
伴大納言

此名は古くは「えき」なり古くは「えき」なり
 又「えき」は「えき」なり「えき」なり
 況も「えき」なり「えき」なり
 又「えき」なり「えき」なり
 況も「えき」なり「えき」なり



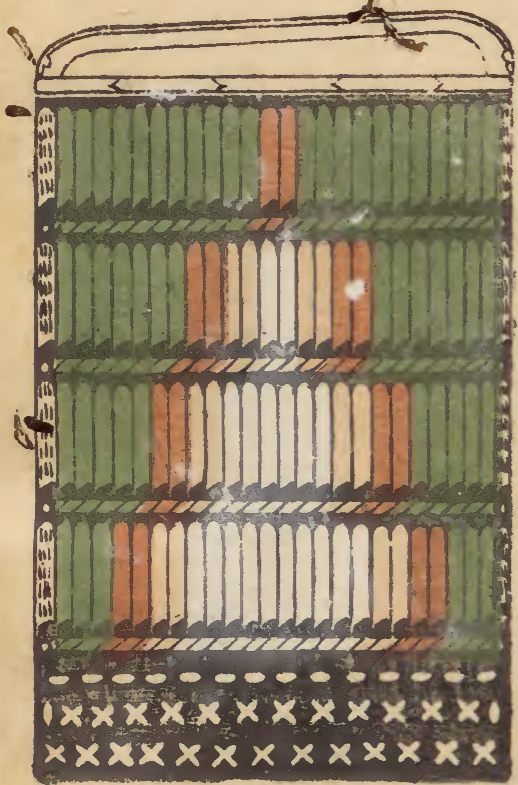
同上

同

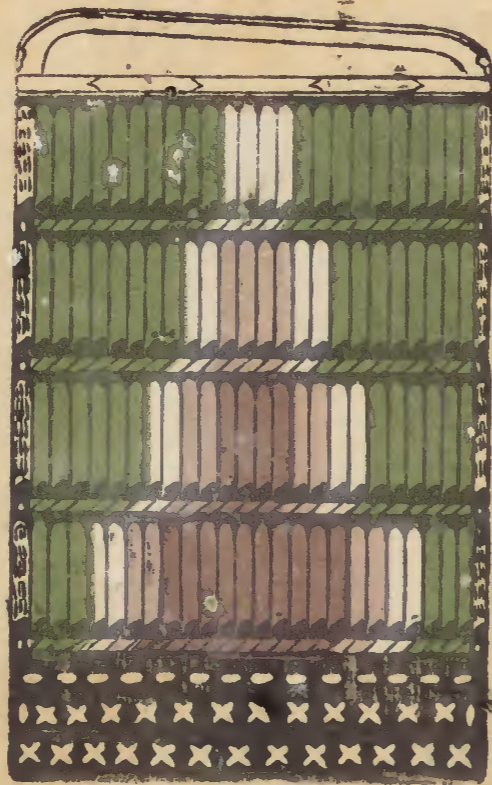


同上

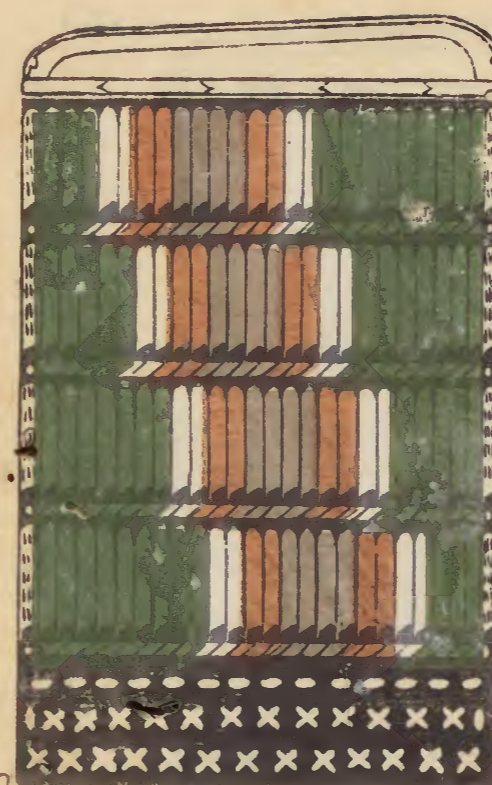
前九年



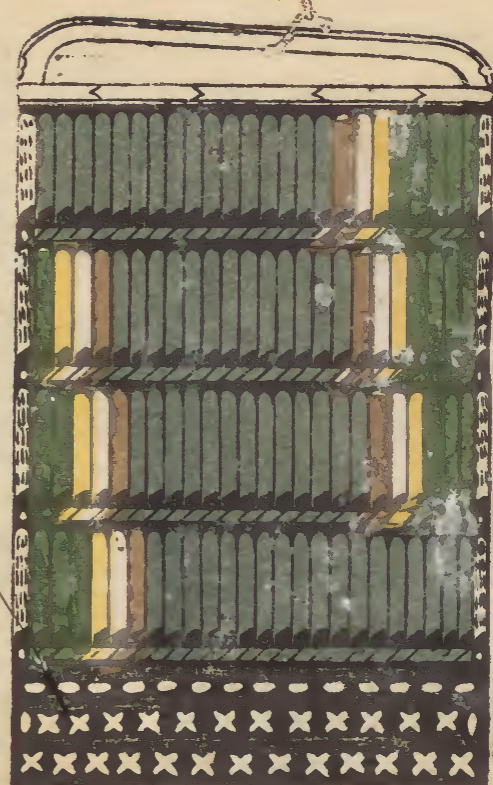
同上
日



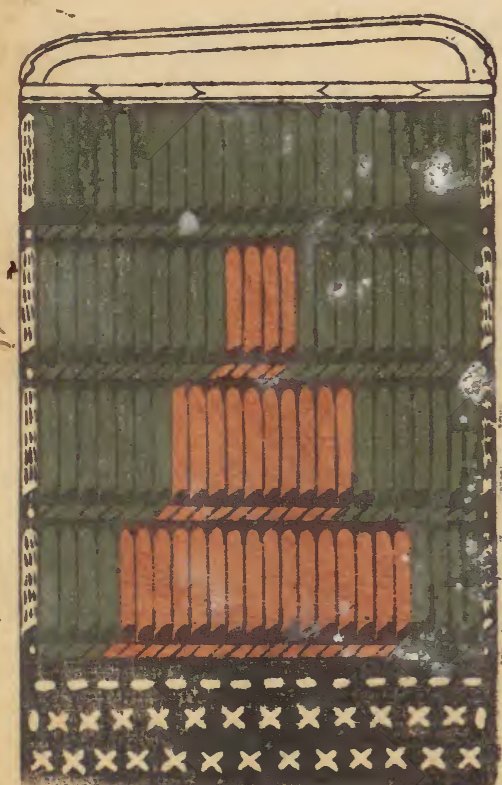
澤水色浮威
後三年



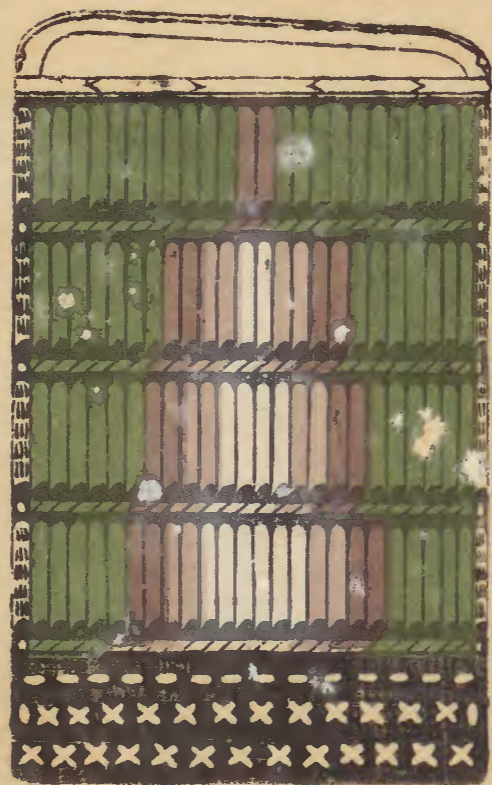
同上
象古



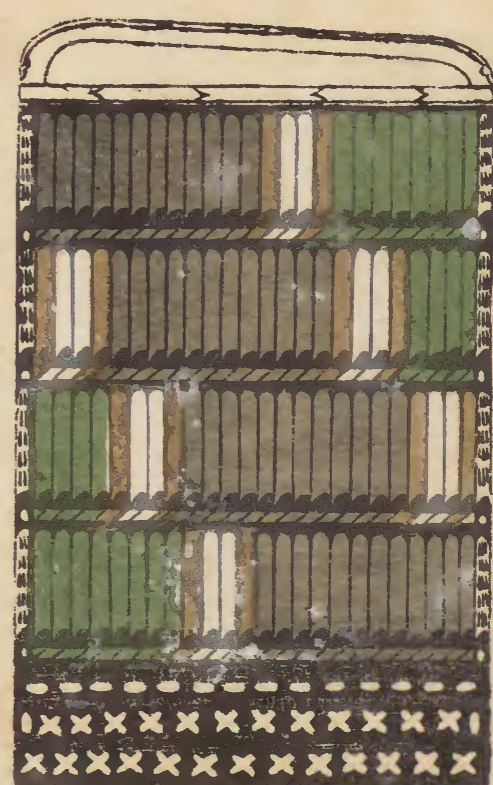
同上
春日



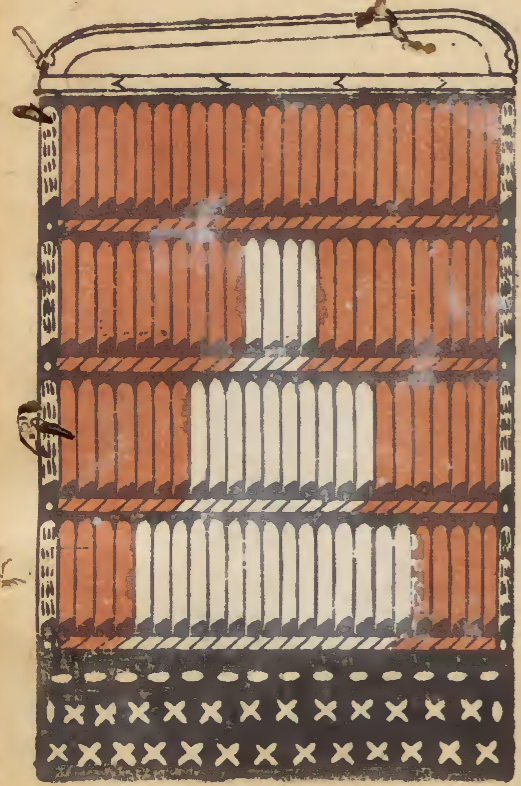
同上
象古



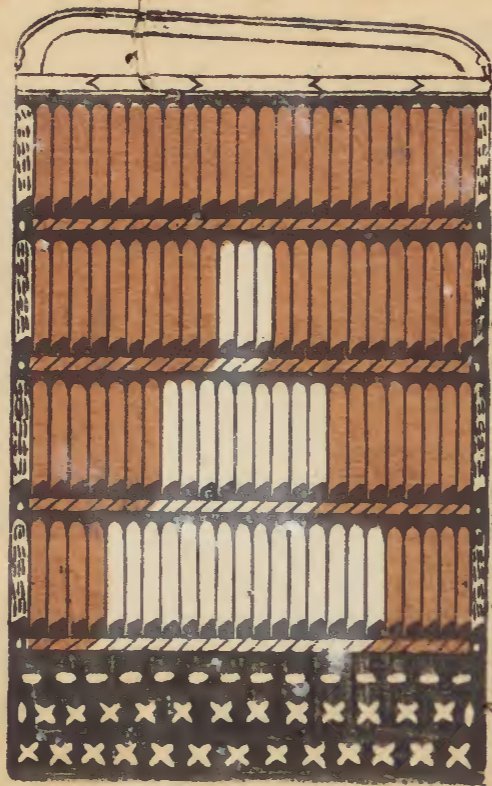
同上



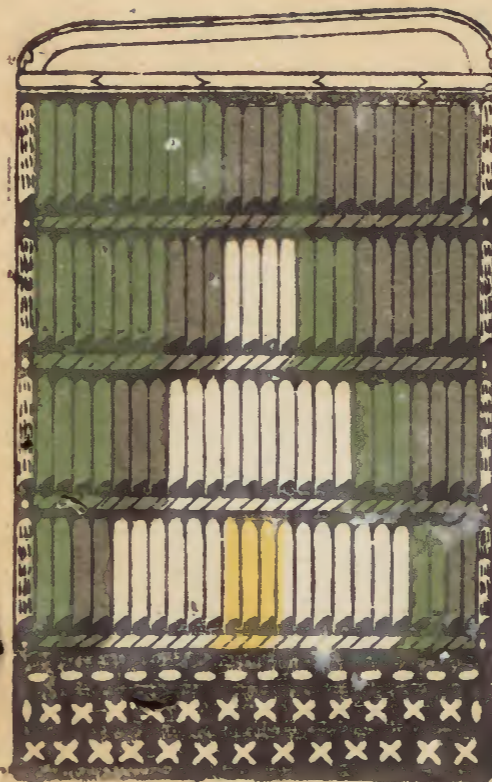
同上
日



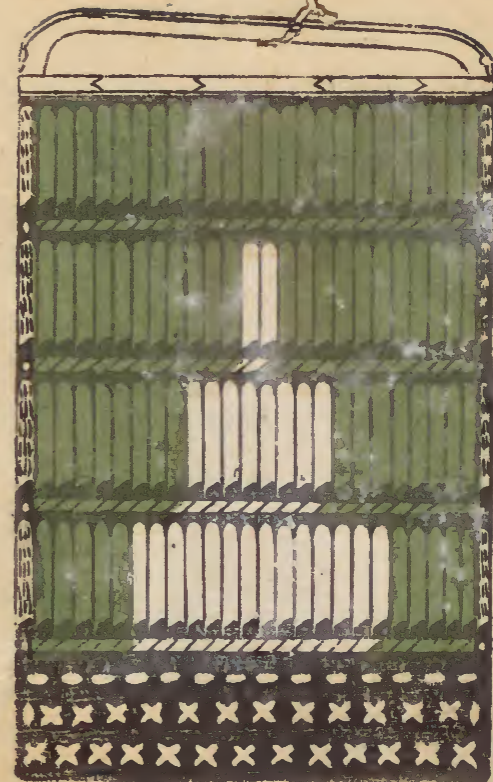
同上
月



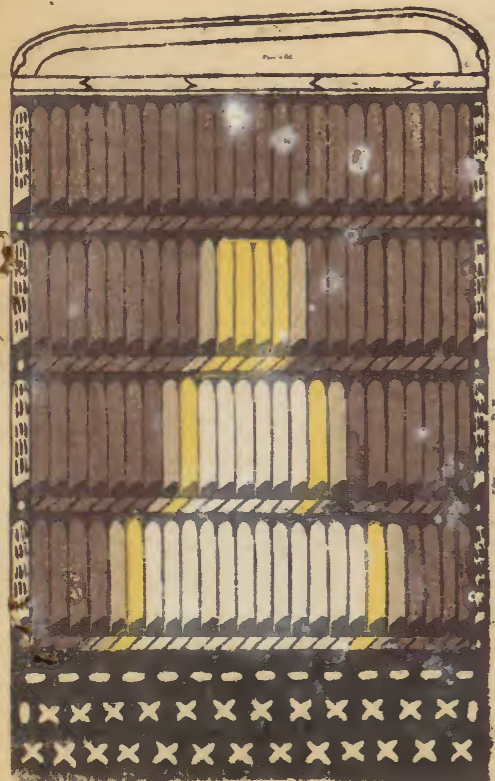
同上
同



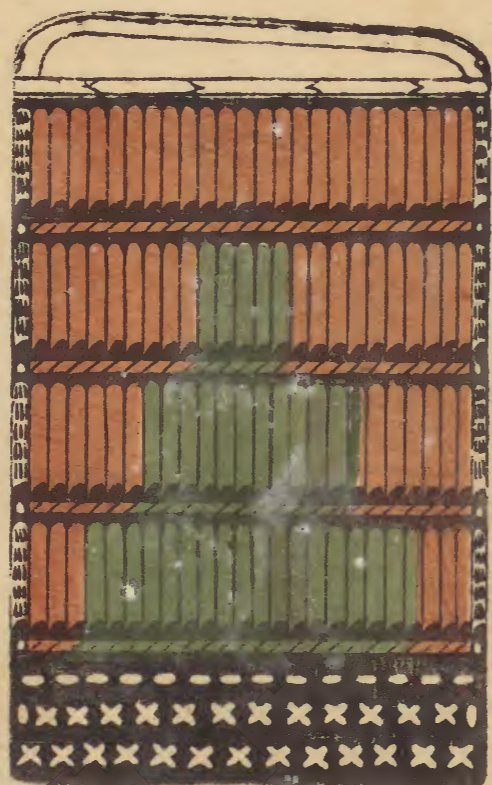
同上
春日社蔵古鏡



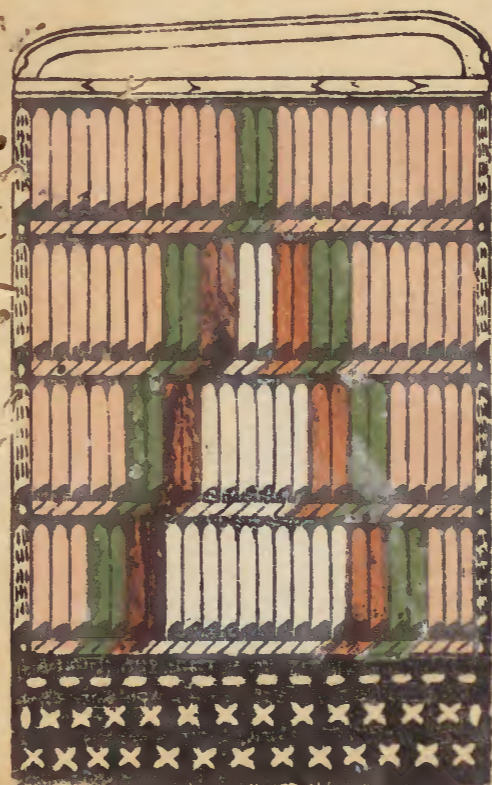
同上
或家平治画



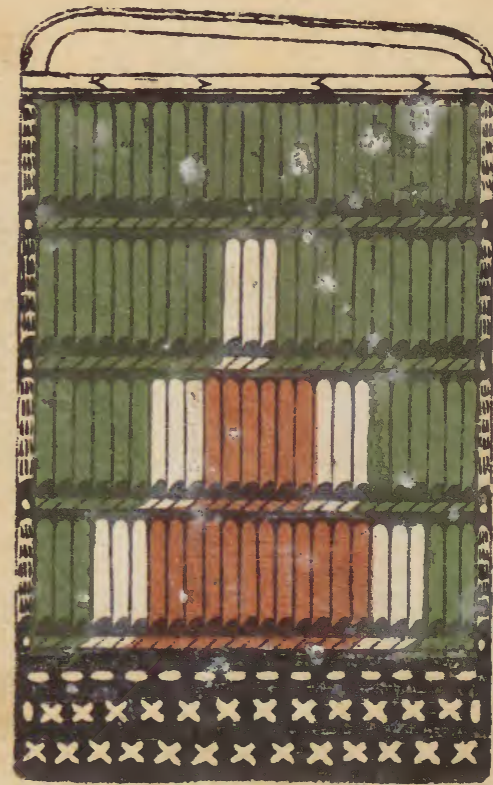
同上
或家平治画



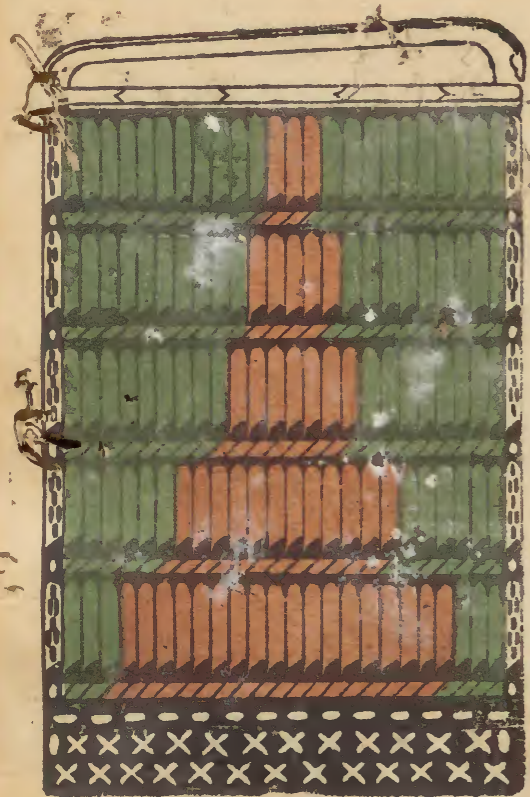
同上
保元平治



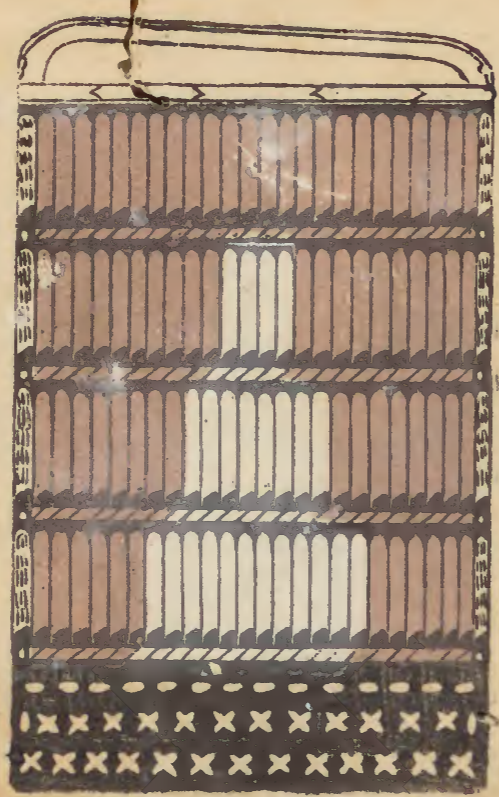
同上
日光



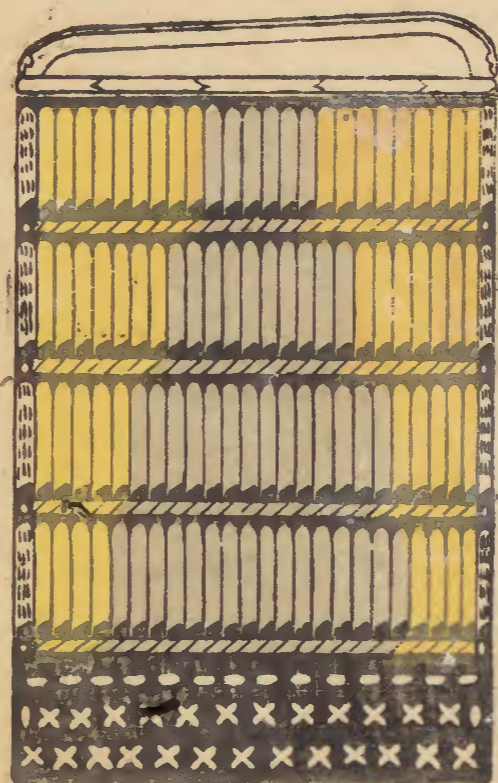
同上
同



同上
月



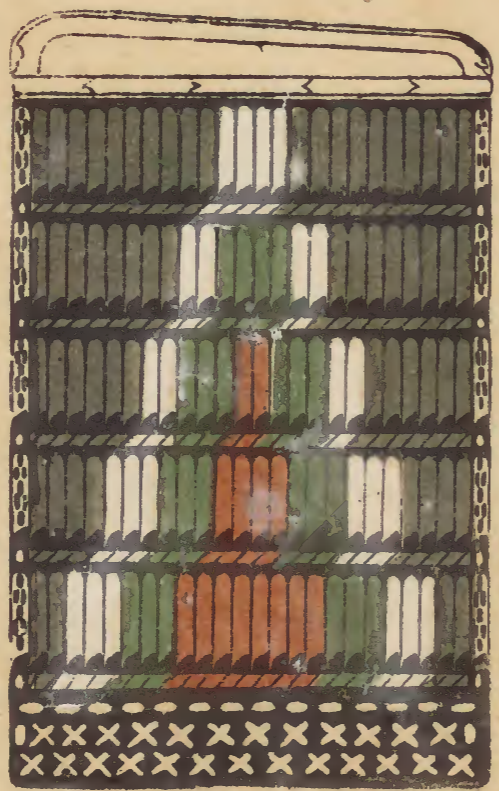
同上
土佐光信画平治



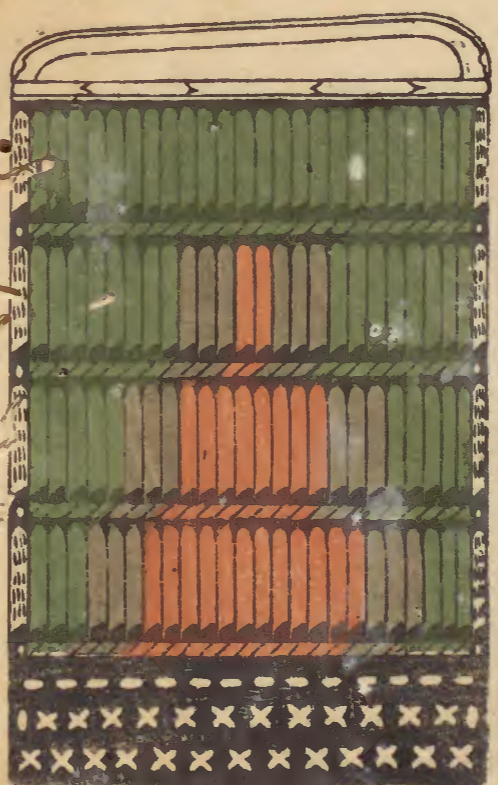
同上
治三年



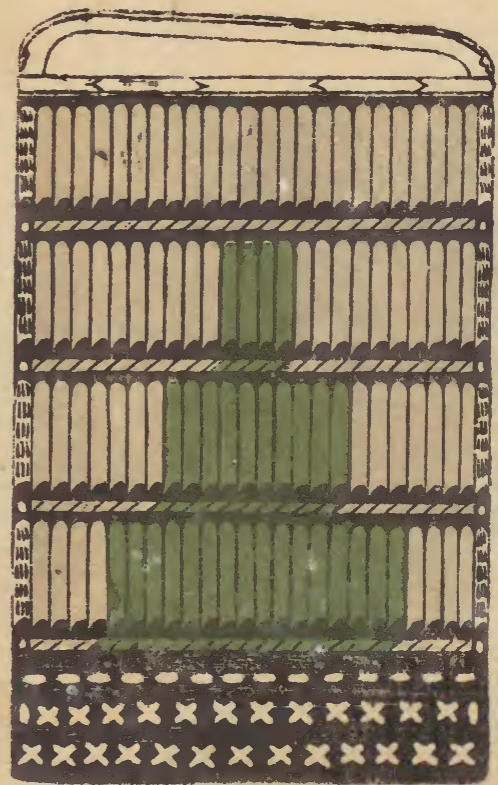
同上
月



同上
蒙古



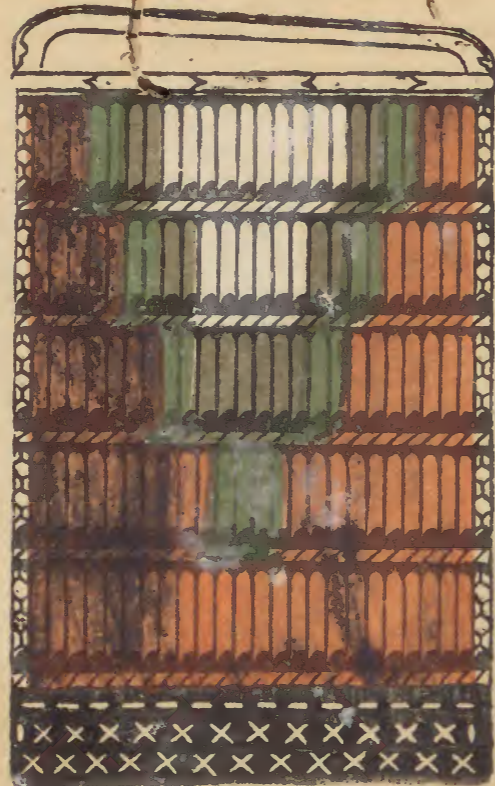
同上
月



同上
保元平治



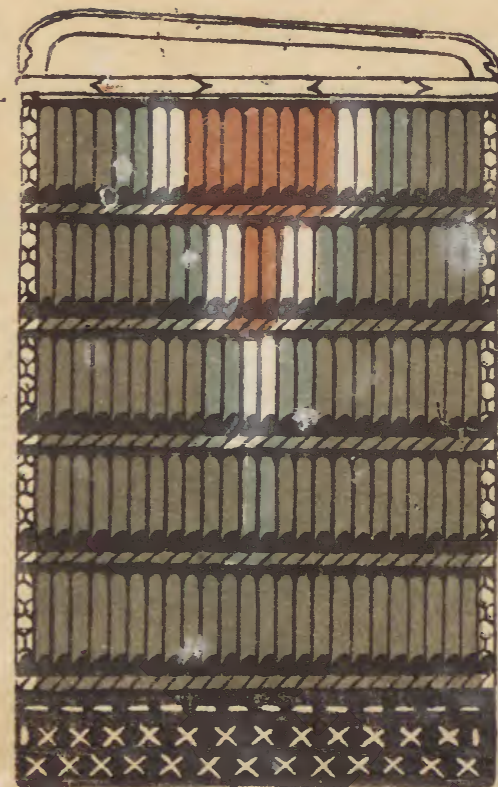
同上
保元平治
十畷



同上
日

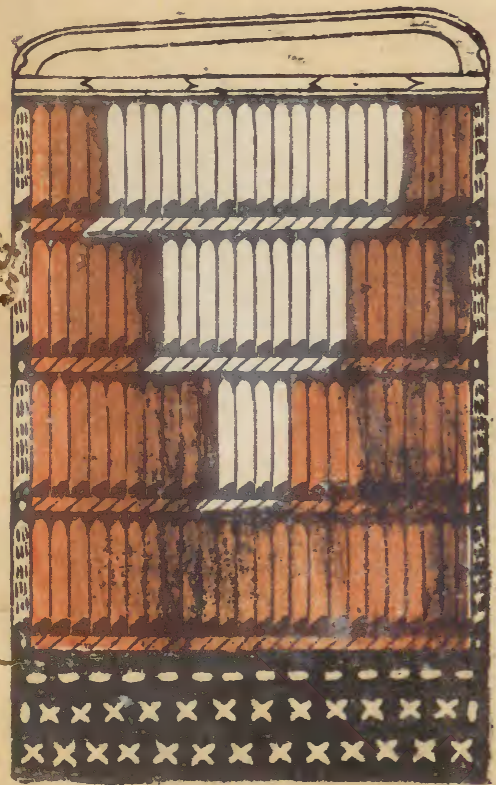


同上
同

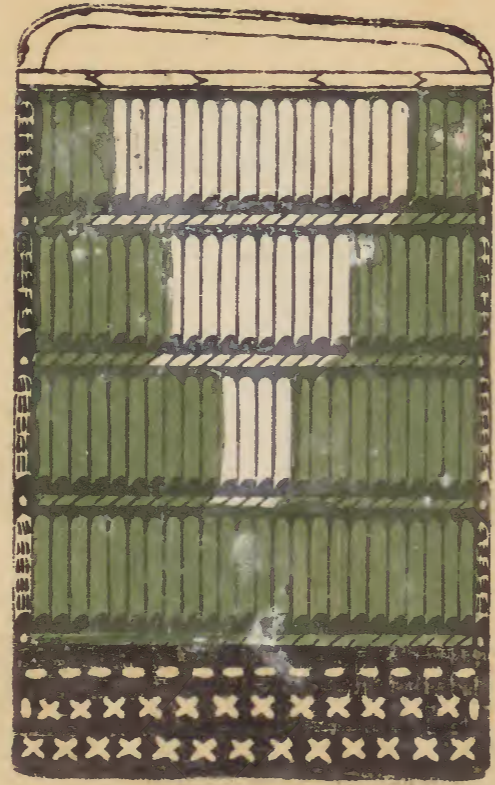


逆前草織
蒙古

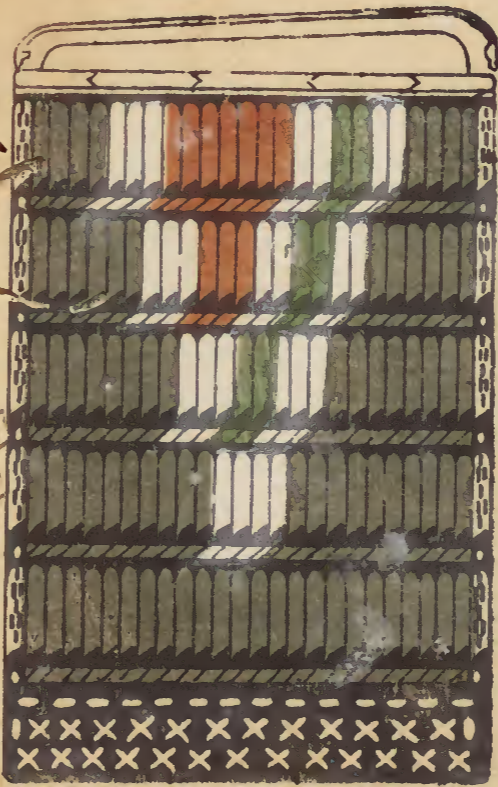
さうり
たかの
おとし



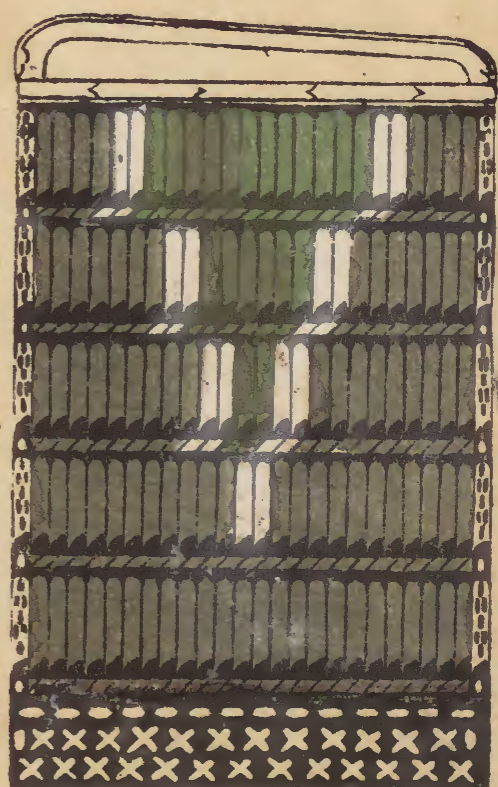
同上
保元平治



同上
日光

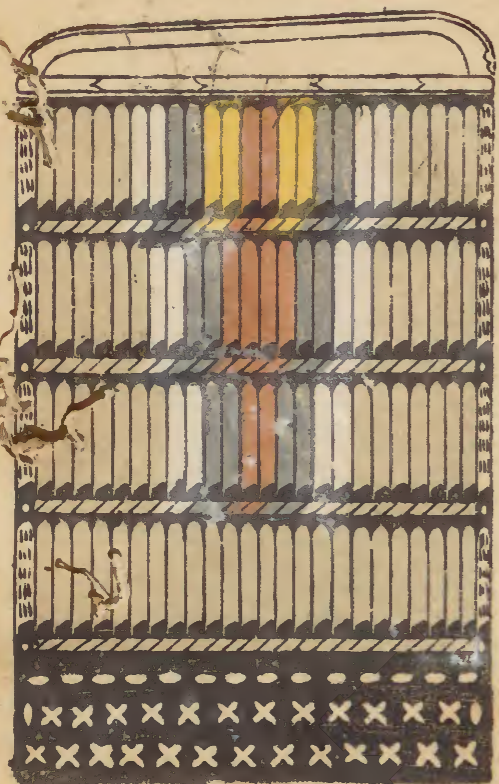


同上
同



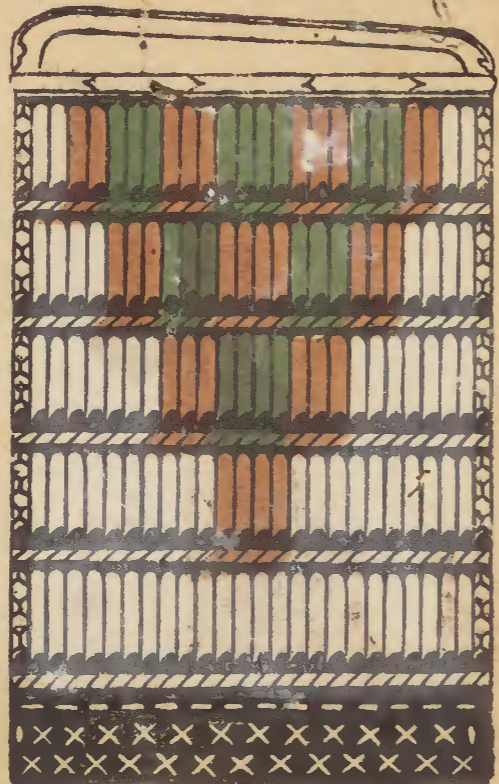
同上
同

三



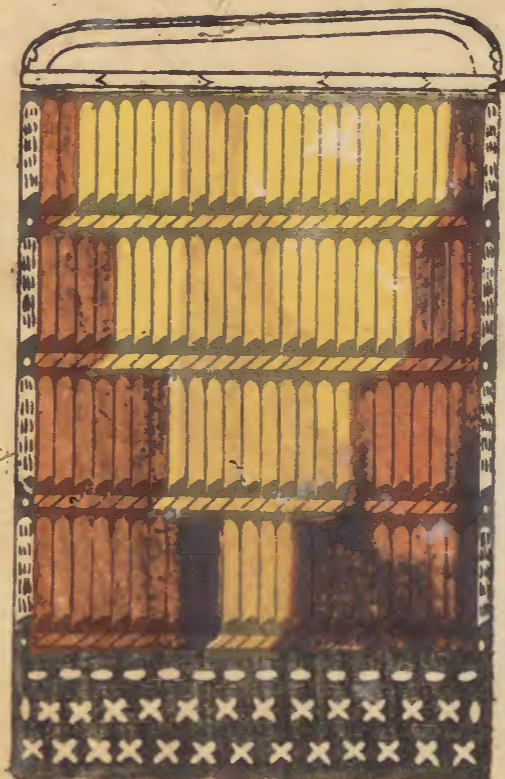
同上

春日



同上

日



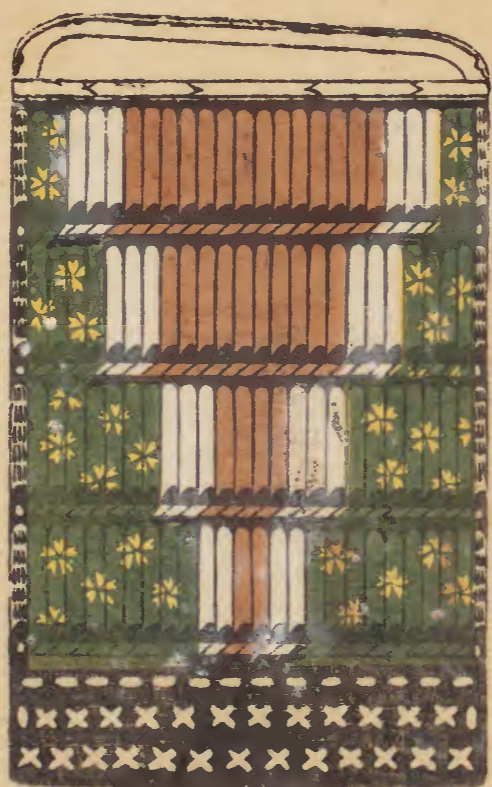
同上

保元平治



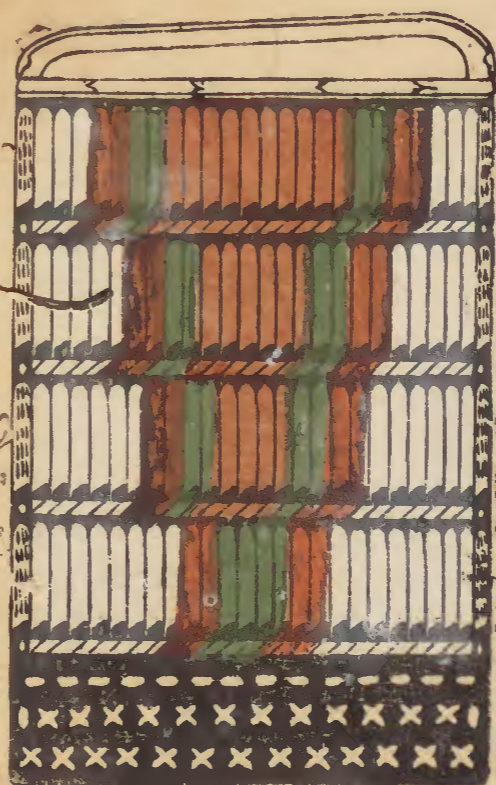
同上

春日



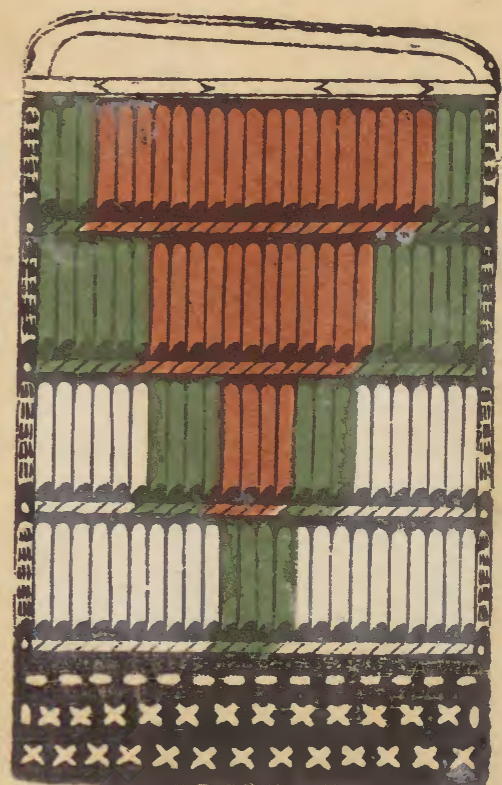
同上

同



同上

後三年



同上

後三年

鎧色一覽上卷終

